

令和2年度

逗子市人口データ集

逗子市



## < 目 次 >

### I. 将来人口

1. 将来人口の推計（国立社会保障・人口問題研究所による推計）	3
1-1. 将来人口の推計（全国、神奈川県、逗子市）	3
1-2. 年齢3区分別人口の推移（逗子市）	4
2. 逗子市総合計画の「目標人口」	5
3. 逗子市人口ビジョンの「将来展望人口」	5

### II. 人口等の概況

1. 推計人口の推移	6
2. 逗子市の人口推移	6
3. 自然増減・社会増減の推移	7
4. 地域別の人口推移	8
5. 合計特殊出生率の推移（全国、神奈川県、逗子市）	8
6. 高齢化率の推移（全国、神奈川県、逗子市）	9
7. 年齢3区分別人口	9
8. 外国人の状況	10

### III. 令和2年度社会増減による人口動態の状況

1. 集計の概要	11
1-1. 集計の目的とデータの留意点	11
1-2. 集計項目と地域別分類	12
1-3. 集計結果の要約	13
2. 転入者データの集計	14
2-1. 年齢の状況～何歳の人が転入してきたか～	14
2-2. 転入元地域の状況～どこから転入してきたか～	15
2-3. 転入元地域別の年齢状況～どこから何歳の人が転入してきたか～	16
2-4. 転入先地域の状況	18
3. 転出者データの集計	22
3-1. 年齢の状況～何歳の人が転出したか～	22
3-2. 転出先地域の状況～どこへ転出したか～	23
3-3. 転出先地域別の年齢状況～どこへ何歳の人が転出したか～	24
3-4. 転出元地域の状況～どの地域（町丁目）から転出したか～	26
4. 社会増減の状況	27
4-1. 社会増減数	27
4-2. 社会増減の年齢状況	27
4-3. 社会増減の地域別状況	29
4-4. 社会増減の市内の地域別状況	31

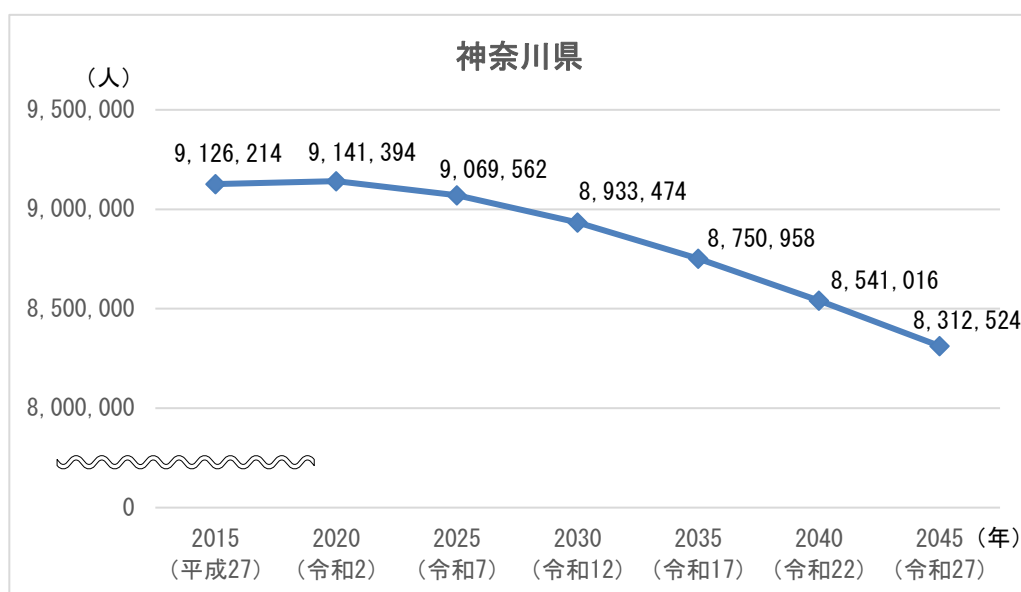
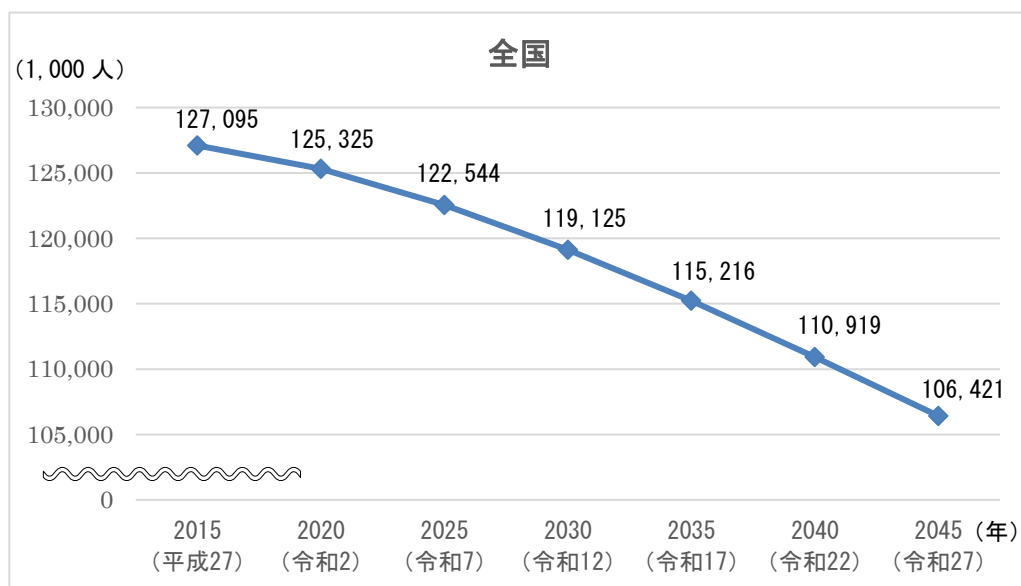
IV. 令和2年度転入者・転出者アンケート結果	32
1. アンケート概要	32
1-1. アンケートの目的	32
1-2. アンケートの項目	32
1-3. アンケートの設計	32
1-4. 回収結果	32
2. 市内転入者アンケート集計結果	33
2-1. 転入の事情、きっかけ	33
2-2. 逗子市を転入先として選んだ理由	33
2-3. 以前に逗子市に住んだ経験の有無	35
2-4. 逗子市にずっと住みたいと思うか	36
2-5. 回答者のプロフィール	38
3. 市外転出者アンケート集計結果	40
3-1. 転出の事情、きっかけ	40
3-2. 逗子市に住んでいて良かったと感じた事柄	40
3-3. 逗子市に住んでいて不便または不満に感じた事柄	42
3-4. 事情が許すのであれば、逗子市に戻りたいかどうか	43
3-5. 回答者のプロフィール	45
4. 調査票	47

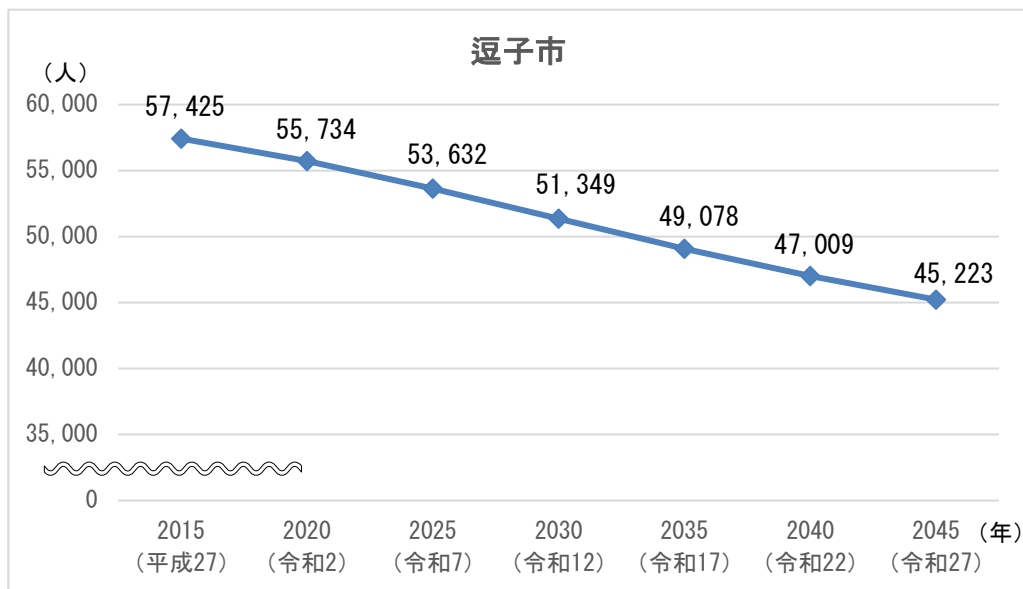
## I. 将来人口

## 1. 将来人口の推計（国立社会保障・人口問題研究所による推計）

## 1-1. 将来人口の推計（全国、神奈川県、逗子市）

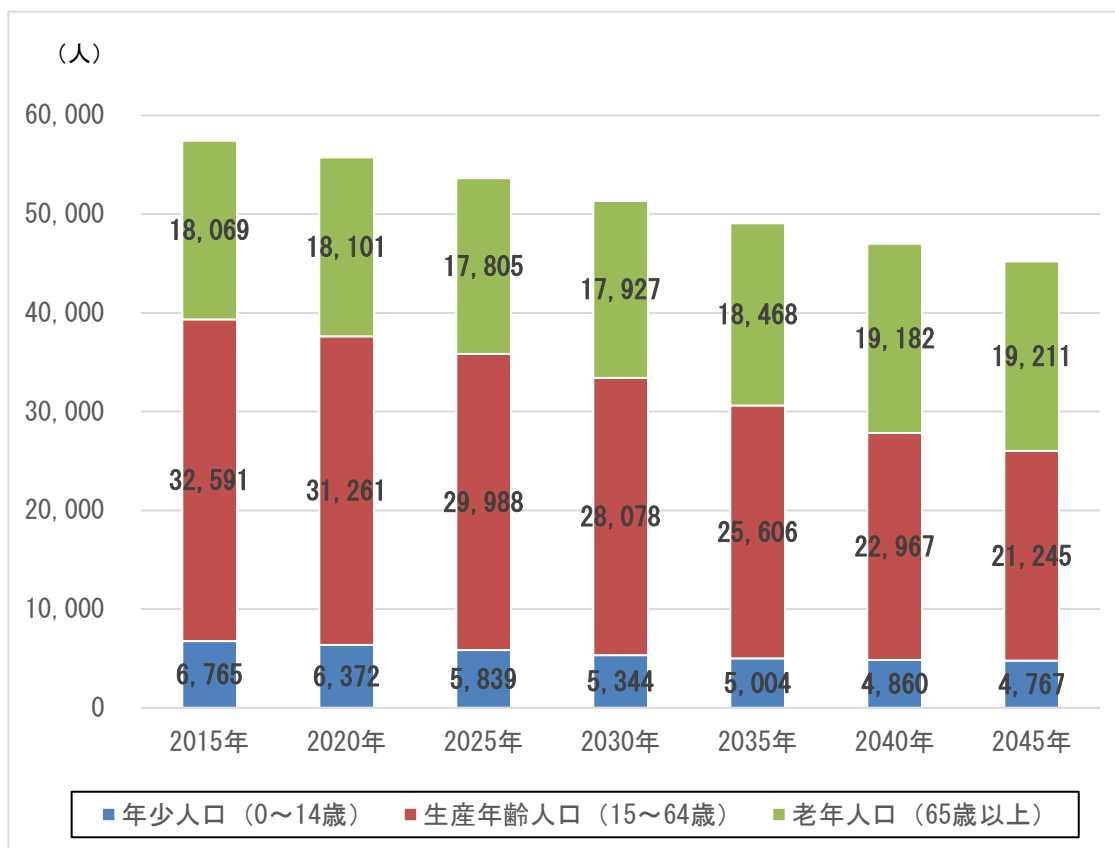
	2015 (平成 27)	2020 (令和 2)	2025 (令和 7)	2030 (令和 12)	2035 (令和 17)	2040 (令和 22)	2045 (令和 27)
全国 (1,000 人)	127,095	125,325	122,544	119,125	115,216	110,919	106,421
神奈川県 (人)	9,126,214	9,141,394	9,069,562	8,933,474	8,750,958	8,541,016	8,312,524
逗子市 (人)	57,425	55,734	53,632	51,349	49,078	47,009	45,223





(資料) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」、  
「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

### 1-2. 年齢3区分別人口の推移（逗子市）



(資料) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

## 2. 逗子市総合計画の「目標人口」

年 年齢区分	2014(平成26)		推計値 2022(令和4)		目標値 2022(令和4)	
	人口(人)	構成比(%)	人口(人)	構成比(%)	人口(人)	構成比(%)
年少人口 0～14歳	6,953	12.0	5,378	9.7	6,487	11.2
生産年齢人口 15～64歳	33,425	57.8	31,636	56.9	32,745	56.7
老年人口 65歳以上	17,487	30.2	18,568	33.4	18,568	32.1
計(総人口)	57,868	100.0	55,582	100.0	57,800	100.0

※2014年(平成26年)は1月1日現在(総務課調べ)。総人口には年齢不詳3人が含まれる。

(資料) 企画課「逗子市総合計画実施計画(2015-2022)」(2015年(平成27年)3月策定)

## 3. 逗子市人口ビジョンの「将来展望人口」

	総人口	年少人口	生産年齢 人口	老年人口
2025年 (令和7年)	54,261人	6,309人 (11.6%)	30,131人 (55.5%)	17,821人 (32.9%)
2045年 (令和27年)	49,185人	7,312人 (14.9%)	22,588人 (45.9%)	19,285人 (39.2%)
2060年 (令和42年)	46,495人	7,755人 (16.7%)	23,156人 (49.8%)	15,584人 (33.5%)

(注) ( ) 内は構成比

(資料) 企画課「逗子市人口ビジョン」(2020年(令和2年)3月改訂)

## Ⅱ. 人口等の推移

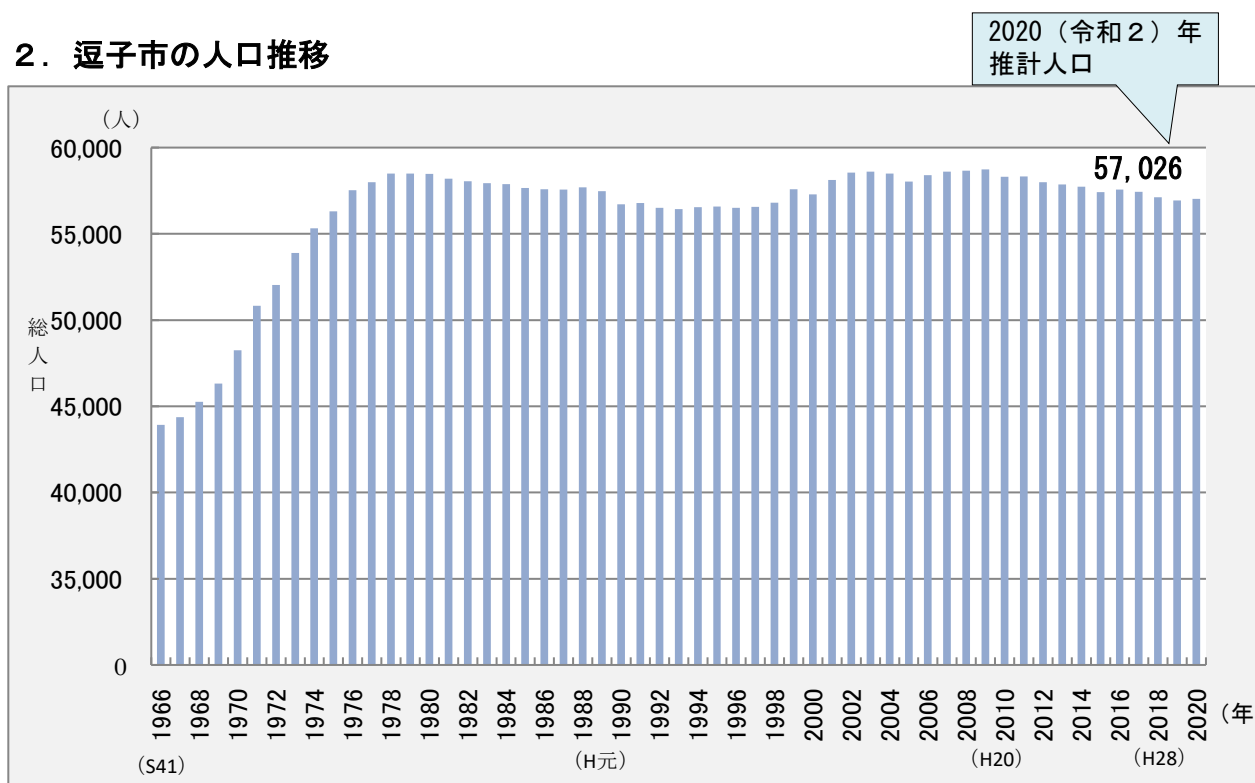
### 1. 推計人口の推移

	推計人口（人）
令和2年4月	56,944
5月	56,980
6月	56,968
7月	56,963
8月	56,978
9月	56,996
10月	57,026
11月	57,009
12月	57,022
令和3年1月	57,042
2月	57,019
3月	57,021

（資料）総務課「町丁字別推計人口（各月1日現在）」

※推計人口とは、5年に一度実施される国勢調査の数値を基礎とし、その数字に毎月の異動人口（出生・死亡・転入・転出）を加減して算出している人口のことで、住民基本台帳人口とは異なります。

### 2. 逗子市の人口推移



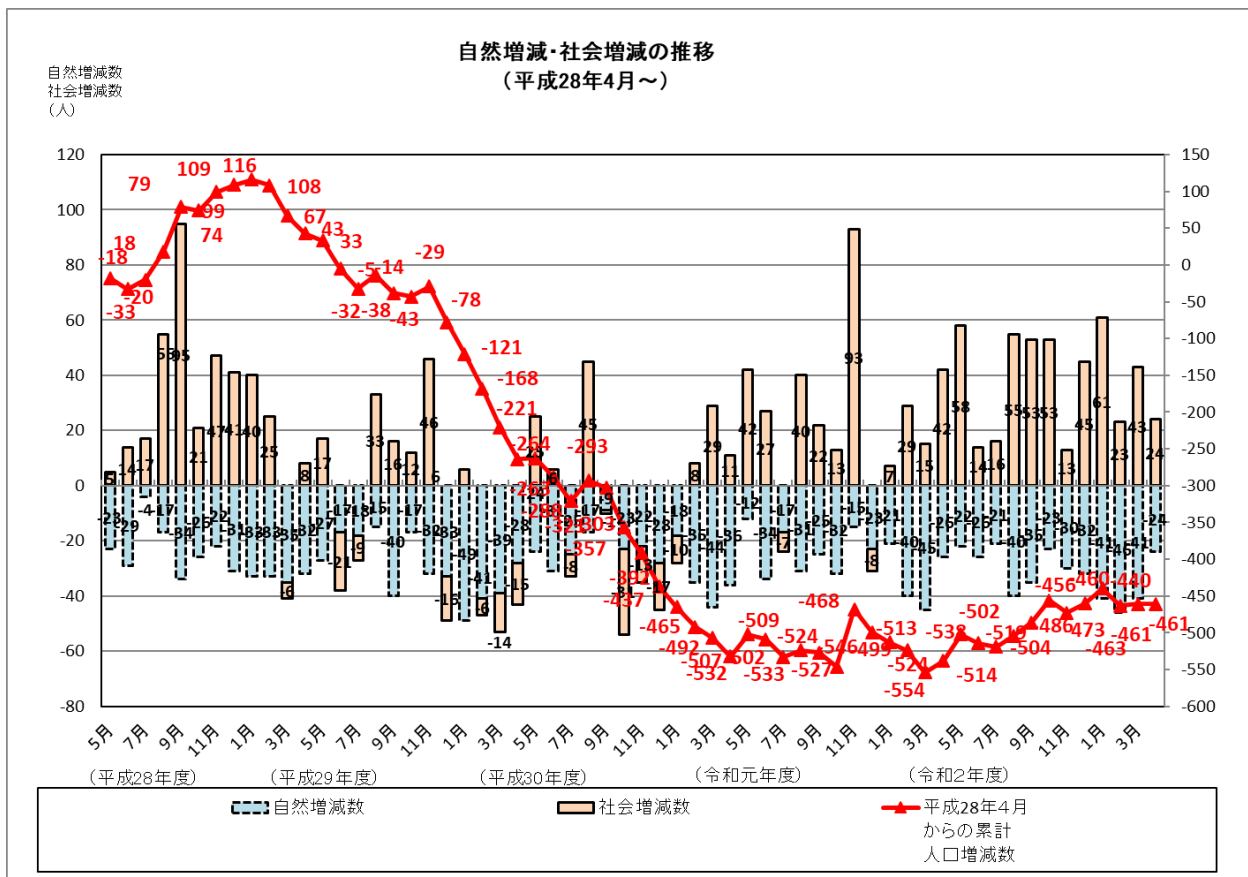
（資料）総務課「推計人口（各年10月1日現在）」



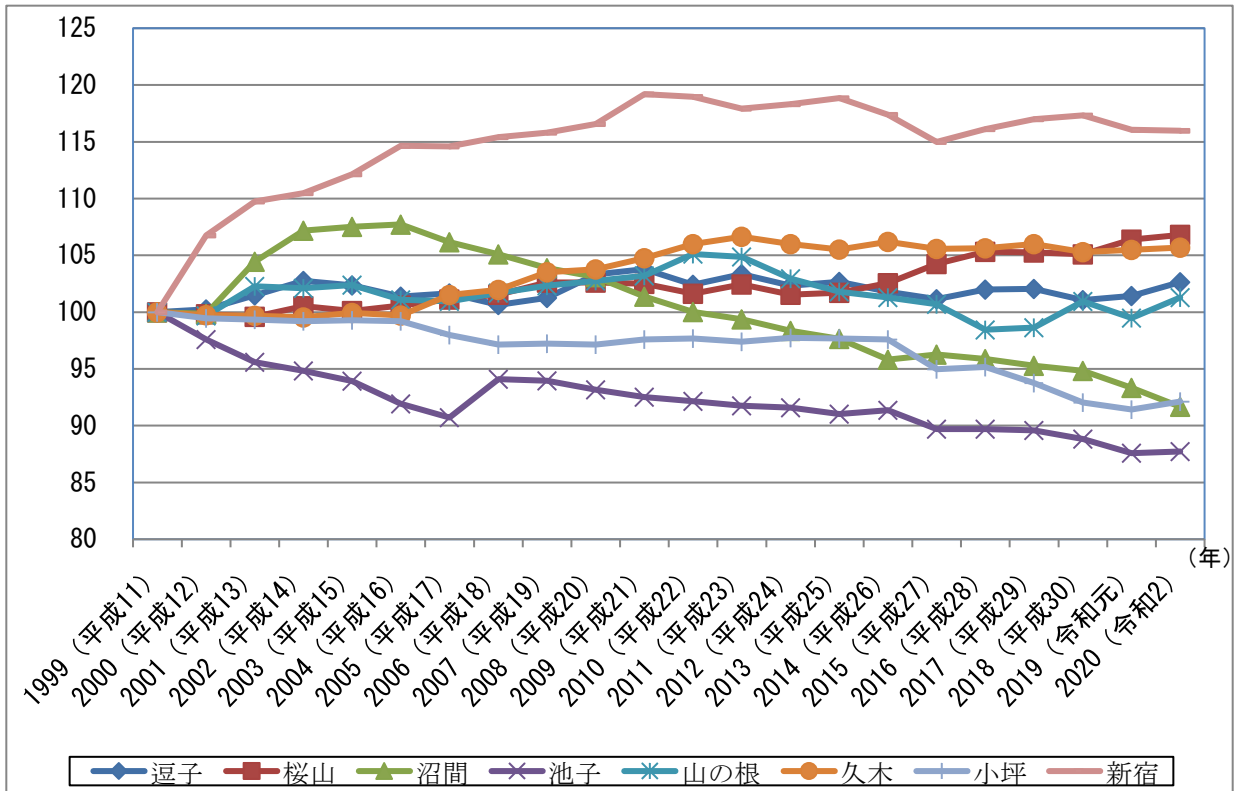
3. 自然増減・社会増減の推移

■自然増減・社会増減表(令和 2年 4月～令和 3年 3月累計)

区分		男	女	計	
自然増減	1 増加	出生	169	153	322
	2 減少	死亡	335	368	703
	(1-2) A		-166	-215	-381
社会増減	3 増加	転入	722	757	1,479
		県外	569	564	1,133
		県内	14	18	32
	計		1,305	1,339	2,644
	4 減少	転出	457	482	939
		県外	566	629	1,195
		県内	26	26	52
計		1,049	1,137	2,186	
(3-4) B		256	202	458	
(A+B) 合計		90	-13	77	



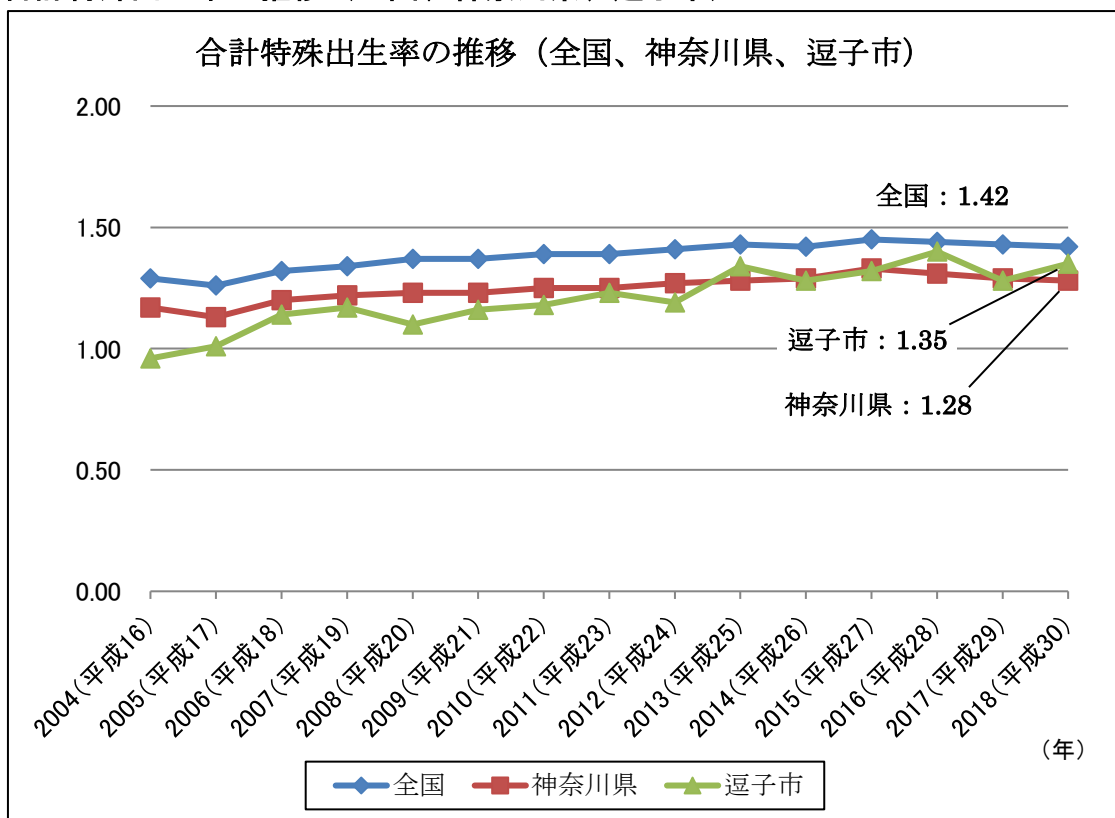
4. 地域別の人口推移



(資料) 総務課「町丁字別推計人口 (各年 10月1日現在)」

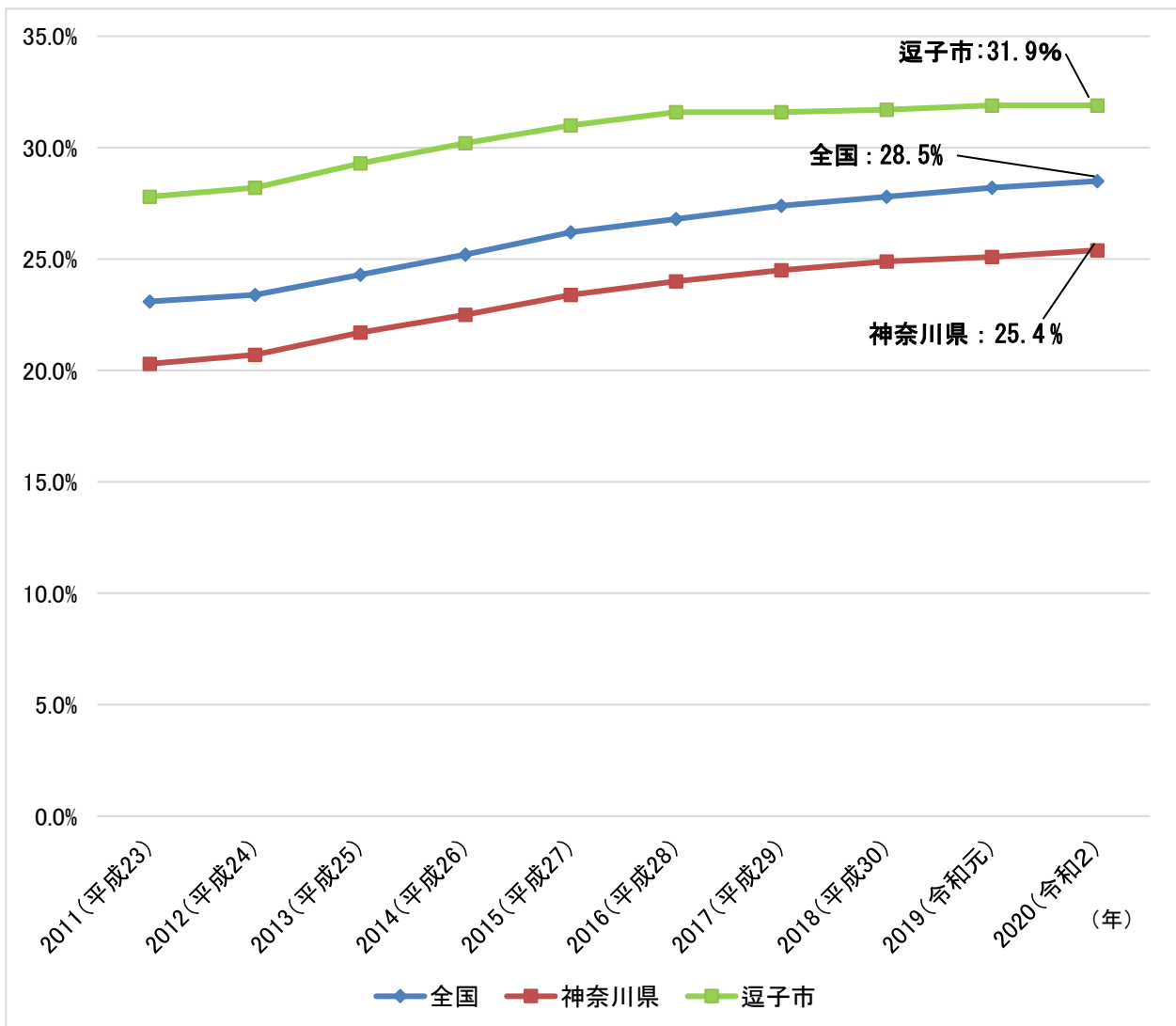
※1999 (平成 11) 年の人口を 100 とした指数による字 (あざ) ごとの地域別人口の推移

5. 合計特殊出生率の推移 (全国、神奈川県、逗子市)



(資料) 国の数値は厚生労働省「人口動態統計」、神奈川県及び逗子市の数値は神奈川県「神奈川県衛生統計年報」

### 6. 高齢化率の推移（全国、神奈川県、逗子市）



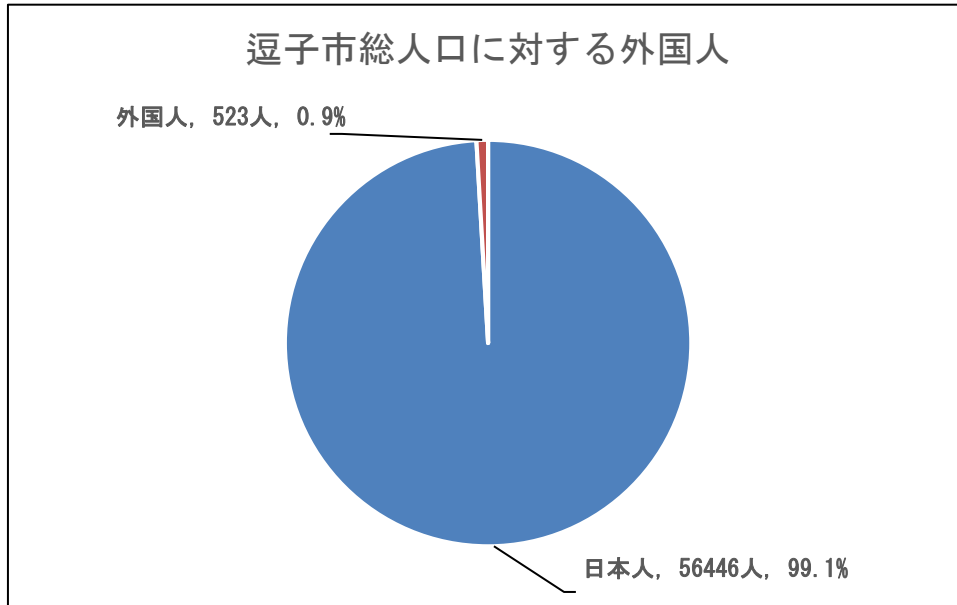
（資料）神奈川県「神奈川県年齢別人口統計調査（各年1月1日現在）」

### 7. 年齢3区分別人口

総数 (人)	年少人口（0～14歳） (人)	生産年齢人口（15～64歳） (人)	老年人口（65歳以上） (人)
56,969	6,613	32,067	18,108

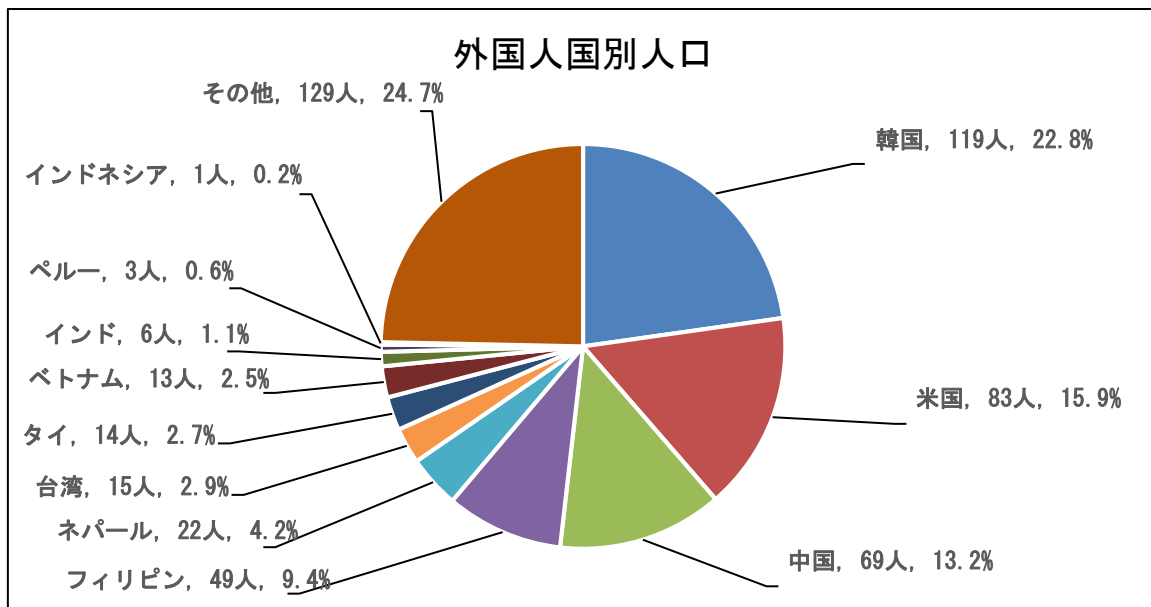
（資料）神奈川県「神奈川県年齢別人口統計調査（令和2年1月1日現在）」

8. 外国人の状況



(資料) 神奈川県「県内外国人統計 (令和2年1月1日現在)」

(資料) 総務課「町丁字別人口 (令和2年1月1日現在)」



(資料) 神奈川県「県内外国人統計 (令和2年1月1日現在)」

### Ⅲ. 令和2年度社会増減による人口動態の状況

#### 1. 集計の概要

##### 1-1. 集計の目的とデータの留意点

###### (1) 集計の目的

逗子市人口ビジョン、逗子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標として「子育て世代を中心とした生産年齢人口層の転入促進、転出抑制」を掲げていることから、転入者・転出者の傾向を把握することを目的としている。

###### (2) 使用するデータと留意点

- ◆ 本集計を作成するに当たっては、デジタル推進課において抽出した住民基本台帳の転入者及び転出者のデータを使用する。
- ◆ 使用するデータは、以下5つのデータ
  - ① 転入者及び転出者の年齢
  - ② 転入元住所
  - ③ 転入先市内住所
  - ④ 転出先住所
  - ⑤ 転出元市内住所
- ◆ 抽出期間は、令和2年4月1日～令和3年3月31日
- ◆ 現在のシステムでは、人口動態実数として戸籍住民課が作成している統計値と同じ抽出をすることができない。一つの抽出期間に同一の者が転入と転出を繰り返した場合は最終の移動だけが抽出されるため、戸籍住民課の統計値と以下のようにずれが生じる。(例：4月2日に転入、4月10日に転出している場合、転出にのみ反映される。)

	転入者	転出者
本集計における数 ①	2,612 人	2,097 人
(参考)戸籍住民課統計値 ②	2,644 人	2,186 人
①-②	-32 人	-89 人

1-2. 集計項目と地域別分類

(1) 集計項目

- ① 転入者の人数、年齢別、転入元地域別、転入先地域別の状況
- ② 転出者の人数、年齢別、転出先地域別、転出元地域別の状況
- ③ 社会増減の人数、年齢別、地域別の状況

(2) 地域別分類

- ◆ 地域別の分析は、地域を次のとおり分類して行う。

地 域	分 類
神奈川県内 市町村	市町村単位（例：横須賀市、葉山町、清川村） ただし、政令市については区単位（例：横浜市西区）
東京都内の 市区町村	東京都（例：三鷹市 → 東京都） ただし、特別区については区単位（例：大田区）
神奈川県・東 京都以外の 市町村	道府県単位（例：浦安市 → 千葉県） ただし、政令市については区単位（例：千葉市緑区）
外国	国単位（例：アメリカ合衆国）

### 1-3. 集計結果の要約

#### (1) 転入

- 令和2年度の転入者数は2,612人
- 年齢としては、年齢階級別の構成比率の上位4区分である25歳から44歳までの年齢階級が約半数を占めている。
- 「横須賀市」「鎌倉市」「葉山町」「横浜市金沢区」といった、本市に接している自治体からの転入が多い。「世田谷区」「大田区」「品川区」「目黒区」など神奈川県に近接している東京都特別区のエリアからの転入者が多い点も特徴的。
- 転入が多い地域は、「久木3丁目」「久木8丁目」「小坪1丁目」「池子2丁目」などである。

#### (2) 転出

- 令和2年度の転出者数は2,097人  
年齢としては、年齢階級別の構成比率の上位4区分である20歳から39歳までの年齢階級が約半数を占めている。
- 「横須賀市」「鎌倉市」「葉山町」「横浜市金沢区」といった、本市に接している地域への転出が多い。また、「アメリカ合衆国」への転出者も多い。
- 転出が多い地域は、「久木8丁目」「小坪1丁目」「池子2丁目」などである。

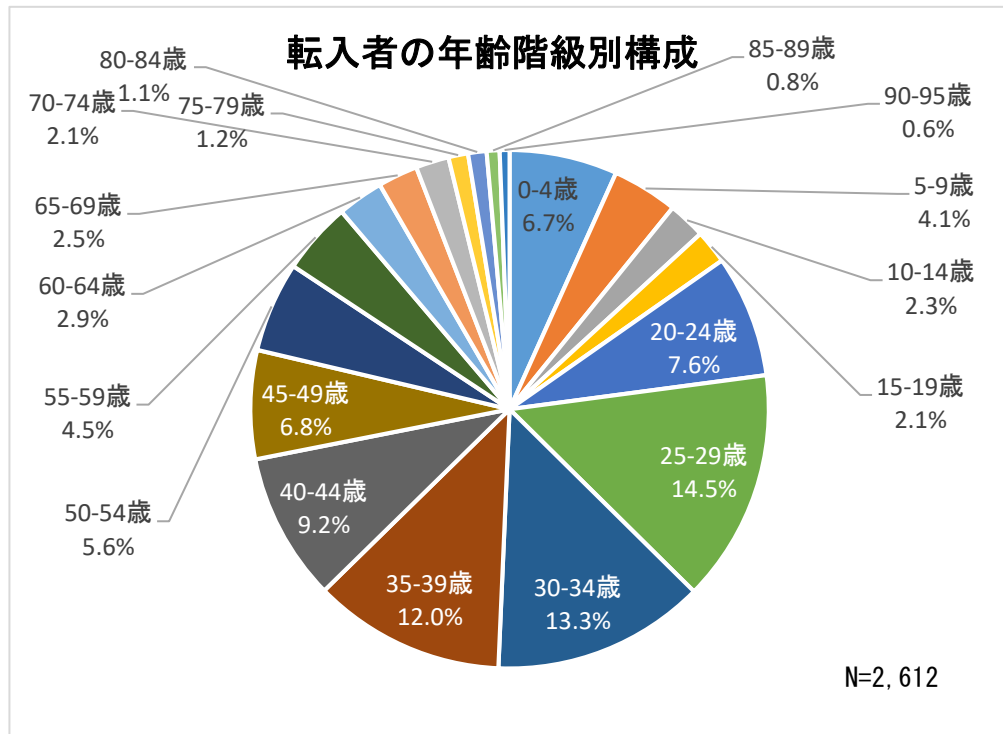
#### (3) 社会増減

- 本市にとって転入超過となっている地域としては、「世田谷区」「品川区」「目黒区」「大田区」など東京都特別区の神奈川県に近接しているエリアが多くなっている。
- 本市にとって転出超過となっている地域のうち、最も転出者数が多い地域は「葉山町」である。

## 2. 転入者データの集計

### 2-1. 年齢の状況 ～ 何歳の方が転入してきたか ～

- ◆ 転入者の年齢をみると、5歳ごとの年齢階級別の構成比率では「25～29歳」が14.5%で最も多く、次に「30～34歳」が13.3%となっている。構成比率の上位4区分である25歳から44歳までの年齢階級を合わせると49.0%と、全体の約半数を占めており、若い世代の生産年齢人口層が多くなっている。



転入者の年齢階級別構成比率（上位5位）

順位	年齢階級	構成比率
1位	25～29歳	14.5%
2位	30～34歳	13.3%
3位	35～39歳	12.0%
4位	40～44歳	9.2%
5位	20～24歳	7.6%



2-2. 転入元地域の状況 ～ どこから転入してきたか ～

- ◆ 転入者の転入前の住所地である転入元地域をみると、本市への転入者が多い地域としては「横須賀市」が173人と最も多い。
- ◆ 本市に接している市町村からの転入者は、「鎌倉市」が116人、「葉山町」が86人、「横浜市金沢区」が69人で、横須賀市からの転入者と合わせると、転入者全体の約2割を占めている。
- ◆ 「アメリカ合衆国」からの転入者も75人と多くなっている。
- ◆ そのほか、「世田谷区」103人、「大田区」67人、「品川区」61人、「目黒区」52人と、これら東京都特別区の神奈川県に近接しているエリアからの転入者は、転入者全体の約1割を占めている。

転入元地域別の転入者数（転入者数が多い上位20位）

順位	地域	人数(人)
1位	横須賀市	173
2位	鎌倉市	116
3位	世田谷区	103
4位	葉山町	86
5位	アメリカ合衆国	75
6位	藤沢市	74
7位	東京都	72
8位	埼玉県	71
9位	横浜市金沢区	69
10位	大田区	67
11位	千葉県	65
12位	品川区	61
13位	横浜市戸塚区	57
	港区	57
15位	目黒区	52
16位	渋谷区	47
17位	川崎市中原区	39
18位	杉並区	37
	横浜市神奈川区	37
	練馬区	37
	中央区	37

N=2,612

Ⅲ. 令和2年度社会増減による人口動態の状況

2-3. 転入元地域別の年齢状況 ～ どこから何歳の人が転入してきたか ～

- ◆ 年齢階級別の構成比率の上位4区分である25歳から44歳までの割合の合計は、「川崎市中原区」で69.2%、「世田谷区」で66.0%、「渋谷区」で63.7%、「杉並区」で62.3%、「目黒区」で61.5%となっており、これらの地域からの転入者数の割合が「総計」の49.0%に比べ多くなっている。
- ◆ 「アメリカ合衆国」からの転入者は、14歳以下の年齢階級で割合が多くなっている。

転入元地域別の年齢階級別転入者数（転入者数が多い上位20位）

※上段：実数

転入者の多い年齢階級上位4階級

下段：各転入元における各年齢階級の構成比

（小数点以下第2位を四捨五入）

転入元	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	合計
横須賀市	7	8	5	3	1	25	22	14	10	12	10	10	10	5	4	3	1	1	1	173
鎌倉市	4	4	3	4	7	13	16	8	12	10	10	10	3	6	2	1	0	0	1	116
世田谷区	4	3	2	1	1	16	17	18	17	3	4	5	1	1	2	4	2	0	0	103
葉山町	3	1	4	6	8	13	5	3	8	10	5	3	4	2	8	2	0	1	1	86
アメリカ合衆国	11	6	8	3	3	2	10	8	6	6	5	2	6	0	0	0	0	0	0	75
藤沢市	5	0	3	2	2	14	9	8	6	6	2	4	1	2	6	2	1	0	0	74
東京都	5	0	0	0	8	11	12	10	9	4	2	1	6	3	2	1	0	0	0	72
埼玉県	6	3	0	0	7	11	9	9	4	5	7	1	4	1	1	3	1	1	0	71
横浜市金沢区	6	2	1	3	1	10	11	5	7	3	4	2	1	1	1	0	1	2	2	69
大田区	10	3	0	0	6	13	8	8	6	5	5	0	0	0	1	1	2	1	0	67
千葉県	2	4	0	3	1	10	7	5	6	0	5	6	1	1	0	0	2	0	0	65
品川区	5	2	3	1	1	9	15	5	7	5	4	0	1	0	0	1	0	1	1	61
横浜市戸塚区	6	1	0	0	7	12	9	8	4	1	2	1	2	5	0	0	0	1	1	57
港区	3	1	1	2	2	5	10	10	5	3	5	5	2	1	2	0	1	0	0	57
目黒区	6	1	0	0	7	7	9	14	2	6	0	0	2	1	0	0	0	0	0	52
渋谷区	1	1	0	0	7	9	5	12	4	3	1	3	1	2	2	1	0	1	0	47
川崎市中原区	6	2	0	0	2	6	11	9	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	39
杉並区	3	2	0	0	3	3	5	11	4	1	1	2	0	0	1	0	0	0	0	37
横浜市神奈川区	2	3	1	0	0	2	9	5	4	2	4	2	0	0	0	0	1	1	1	37
中央区	2	2	1	0	2	9	3	3	4	4	2	4	1	0	0	0	0	1	0	37
練馬区	3	1	1	1	5	4	9	5	2	2	3	0	0	2	1	0	0	0	1	37
総計	176	107	61	55	194	379	347	313	241	177	147	117	75	65	54	32	30	21	16	2612

(凡例)

20.0%～	■
15.0～19.9%	■
10.0～14.9%	■
0～9.9%	■

転入元地域別の年齢階級上位4階級（25～44歳）の割合

転入元地域	25歳から44歳までの割合
川崎市中原区	69.3%
世田谷区	66.0%
渋谷区	63.7%
杉並区	62.3%
目黒区	61.5%
品川区	59.1%
東京都	58.3%
横浜市戸塚区	57.9%
横浜市神奈川区	54.1%
練馬区	54.1%
港区	52.6%
大田区	52.2%
中央区	51.4%
藤沢市	50.0%
横浜市金沢区	47.8%
埼玉県	46.5%
千葉県	43.1%
鎌倉市	42.2%
横須賀市	41.0%
アメリカ合衆国	34.7%
総計	49.0%

2-4. 転入先地域の状況

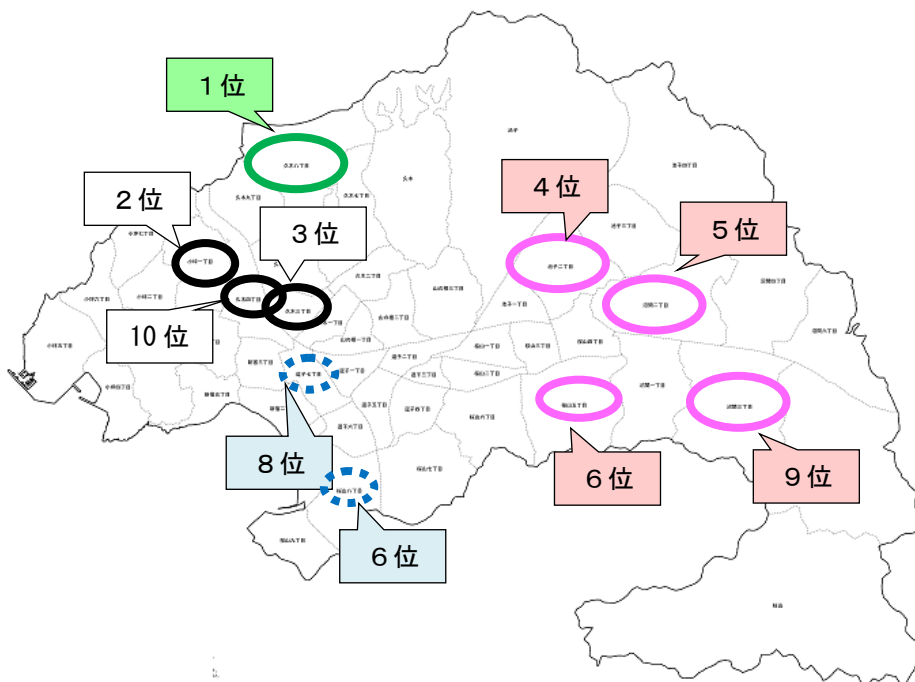
(1) 転入先地域別の転入者数 ～ どの地域(町丁目)に転入してきたか ～

- ◆ 市内の転入先地域について、転入者数の多い地域(町丁目)の上位10位をみると、「久木8丁目」が155人で最も多くなっている。
- ◆ 市の東エリアについては、「池子2丁目」91人、「沼間2丁目」84人、「桜山5丁目」82人、「沼間3丁目」78人となっており、転入者が多い地域となっている。
- ◆ 市の中心部や逗子海岸隣接エリアについても、「桜山8丁目」82人、「逗子7丁目」79人と転入者が多くなっている。

転入先地域別の転入者数(転入者が多い上位10位)

順位	転入先地域	人数(人)
1位	久木8丁目	155
2位	小坪1丁目	127
3位	久木3丁目	99
4位	池子2丁目	91
5位	沼間2丁目	84
6位	桜山5丁目	82
	桜山8丁目	82
8位	逗子7丁目	79
9位	沼間3丁目	78
10位	久木4丁目	77

N=2,612



Ⅲ. 令和2年度社会増減による人口動態の状況

(2) 転入先地域別の転入者の年齢状況 ～ どの地域(字)に何歳の人  
が転入してきたか ～

- ◆ 市内の転入先地域(字)について、「池子ヒルズ」は、0歳から14歳までの割合が約半数を占めている。
- ◆ 「山の根」は、30歳から34歳までの割合が19.6%と多くなっている。
- ◆ 年齢階級別の構成比率の上位4区分である25歳から44歳までの割合の合計は、「山の根」で61.6%となっており、転入者数の割合が「総計」の49.0%に比べ多くなっている。

転入先地域別の年齢階級別転入者数

転入者の多い年齢階級上位4階級

※上段：実数

下段：各転入先における各年齢階級の構成比  
(小数点以下第2位を四捨五入)

転入先	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	総計
久木	23	17	13	13	27	88	60	55	49	36	33	27	19	14	7	3	7	1	3	495
桜山	41	24	10	6	48	96	93	62	45	29	22	19	19	13	10	4	6	4	6	557
山の根	12	1	0	2	13	19	28	26	15	13	6	3	1	1	0	2	0	0	0	143
小坪	17	16	7	8	16	35	26	34	38	32	30	28	13	11	11	10	5	6	2	345
沼間	18	12	8	4	33	44	28	20	29	14	22	13	7	9	9	7	3	7	5	292
新宿	8	7	1	4	10	20	17	22	9	14	10	7	8	3	1	1	3	0	0	145
逗子	19	11	11	11	31	46	57	53	38	24	15	13	4	6	8	5	3	2	0	357
池子ヒルズ	19	8	7	1	0	4	11	6	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64
池子	19	11	4	6	21	27	27	35	15	10	9	7	4	8	7	2	1	1	0	214
総計	176	107	61	55	199	379	347	313	241	177	147	117	75	65	54	32	30	21	16	2612
	6.7%	4.1%	2.3%	2.1%	7.6%	14.5%	13.3%	12.0%	9.2%	6.8%	5.6%	4.5%	2.9%	2.5%	2.1%	1.2%	1.1%	0.8%	0.6%	100.0%

(凡例)

20.0%～	
15.0～19.9%	
10.0～14.9%	
0～9.9%	

注)「池子ヒルズ」は池子住宅地区及び海軍補助施設のエリア

Ⅲ. 令和2年度社会増減による人口動態の状況

転入先地域別の年齢階級上位4階級（25～44歳）の割合

転入先地域	25～44歳までの割合
山の根	61.6%
逗子	54.3%
桜山	53.1%
久木	50.9%
池子	48.6%
新宿	46.9%
沼間	41.4%
小坪	38.6%
池子ヒルズ	37.5%
合 計	49.0%

(3) 転入元地域別の転入先地域の状況 ～ どこからどの地域(字)に転入してきたか ～

- ◆ 転入元地域(転入者数上位10位)別に市内の転入先地域(字)の状況をみると、最も転入者の多い横須賀市からの転入先地域としては「桜山」が29.5%で最も多く、次に「久木」が18.5%が続いている。
- ◆ 転入者の転入先地域としては、全体では「桜山」の割合が多くなっているが、特に大田区からの転入者が41.8%と多くなっている。

転入先地域別の転入元地域別転入者数  
(転入者が多い上位10地域)

※上段：実数

下段：各転入元における各転入先の構成比  
(小数点以下第2位を四捨五入)

転入先 転入元	久木	桜山	山の根	小坪	沼間	新宿	逗子	池子	池子ヒルズ	総計
横須賀市	32 18.5%	51 29.5%	6 3.5%	7 4.0%	31 17.9%	2 1.2%	28 16.2%	16 9.2%	0 0.0%	173 100.0%
鎌倉市	24 20.7%	21 18.1%	12 10.3%	25 21.6%	12 10.3%	1 0.9%	13 11.2%	8 6.9%	0 0.0%	116 100.0%
世田谷区	20 19.4%	21 20.4%	5 4.9%	14 13.6%	2 1.9%	10 9.7%	24 23.3%	7 6.8%	0 0.0%	103 100.0%
葉山町	19 22.1%	22 25.6%	7 8.1%	3 3.5%	8 9.3%	2 2.3%	22 25.6%	3 3.5%	0 0.0%	86 100.0%
アメリカ合衆国	11 14.7%	12 16.0%	5 6.7%	0 0.0%	6 8.0%	0 0.0%	5 6.7%	1 1.3%	35 46.7%	75 100.0%
藤沢市	12 16.2%	20 27.0%	2 2.7%	10 13.5%	14 18.9%	2 2.7%	7 9.5%	7 9.5%	0 0.0%	74 100.0%
東京都	12 16.7%	15 20.8%	7 9.7%	10 13.9%	4 5.6%	5 6.9%	10 13.9%	4 5.6%	5 6.9%	72 100.0%
埼玉県	10 14.1%	18 25.4%	5 7.0%	3 4.2%	6 8.5%	6 8.5%	12 16.9%	11 15.5%	0 0.0%	71 100.0%
横浜市金沢区	15 21.7%	15 21.7%	4 5.8%	0 0.0%	21 30.4%	1 1.4%	5 7.2%	8 11.6%	0 0.0%	69 100.0%
大田区	6 9.0%	28 41.8%	6 9.0%	11 16.4%	3 4.5%	7 10.4%	5 7.5%	1 1.5%	0 0.0%	67 100.0%
総計	495 19.0%	557 21.3%	143 5.5%	345 13.2%	292 11.2%	145 5.6%	357 13.7%	214 8.2%	64 2.5%	2612 100.0%

(凡例)

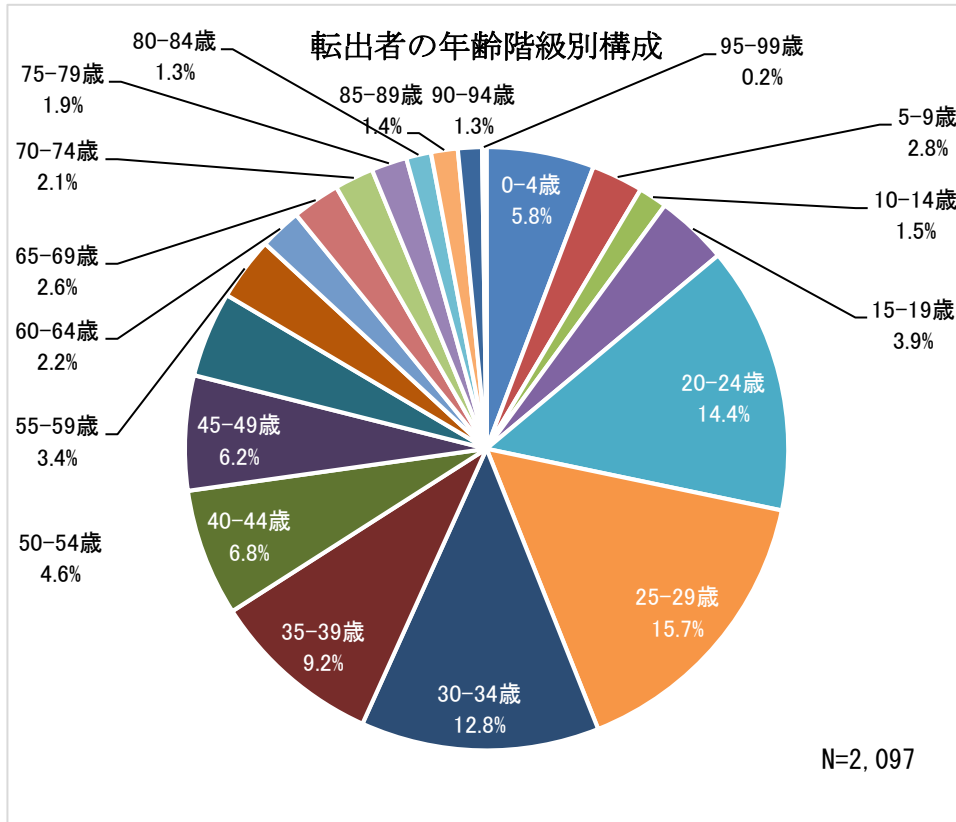
25.0%～	
20.0～24.9%	
15.0～19.9%	
0～14.9%	

注)「池子ヒルズ」は池子住宅地区及び海軍補助施設のエリア

### 3. 転出者データの集計

#### 3-1. 年齢の状況 ～ 何歳の方が転出したか ～

- ◆ 転出者の年齢をみると、5歳ごとの年齢階級別の構成比率では「25～29歳」が15.7%で最も多く、次に「20～24歳」が14.4%、「30～34歳」が12.8%、「35～39歳」が9.2%と続き、20歳から39歳までの若い世代の生産年齢人口層が全体の約半数を占めている。



#### 転出者の年齢階級別構成比率（上位5位）

順位	年齢階級	構成比率
1位	25～29歳	15.7%
2位	20～24歳	14.4%
3位	30～34歳	12.8%
4位	35～39歳	9.2%
5位	40～44歳	6.8%

N=2,097



3-2. 転出先地域の状況 ～ どこへ転出したか ～

- ◆ 転出者の転出後の住所地である転出先地域をみると、本市からの転出者数が多い地域としては「横須賀市」が150人で最も多く、次に「鎌倉市」が144人、「葉山町」が121人、「横浜市金沢区」が102人と本市に接している市町村への転出者が転出者全体の2割以上を占めている。
- ◆ 「アメリカ合衆国」への転出が全体で8番目と多くなっている。

転出先地域別の転出者数（転出者数が30人以上の地域）

順位	地域	人数(人)
1位	横須賀市	150
2位	鎌倉市	144
3位	葉山町	130
4位	藤沢市	105
5位	横浜市金沢区	102
6位	東京都	81
7位	千葉県	61
8位	アメリカ合衆国	58
9位	埼玉県	44
10位	横浜市戸塚区	42
11位	横浜市港南区	38
	大田区	38
13位	横浜市磯子区	33
	茅ヶ崎市	33
15位	横浜市南区	31
	沖縄県	31

N=2,097

Ⅲ. 令和2年度社会増減による人口動態の状況

3-3. 転出先地域別の年齢状況 ～ どこへ何歳の人が転出したか ～

- ◆ 転出者数が30人以上の転出先地域について、本市に接している市町村への転出者数の割合をみると、他の市町村に比べ幅広い年齢階級から転出していることがうかがえる。
- ◆ 年齢階級別の構成比率の上位5区分である20歳から44歳までの割合の合計は、「横浜市南区」で77.4%、「横浜市港南区」で71.4%となっており、転出者数の割合が「総計」の58.9%に比べ多くなっている。

転出先地域別の年齢階級別転出者数（転出者数が30人以上の地域）

※上段：実数

下段：各転出先における各年齢階級の構成比

（小数点以下第2位を四捨五入）

転出者の多い年齢階級上位5階級



転出先	年齢																				合計	
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳		100～104歳
横須賀市	10	1	2	8	15	19	15	9	13	11	15	5	2	6	5	6	2	2	1	2	1	150
	6.7%	0.7%	1.3%	5.3%	10.0%	12.7%	10.0%	6.0%	8.7%	7.3%	10.0%	3.3%	1.3%	4.0%	3.3%	4.0%	1.3%	1.3%	0.7%	1.3%	0.7%	100.0%
鎌倉市	7	1	1	4	6	21	19	15	12	12	3	7	8	8	2	5	6	4	3	0	0	144
	4.9%	0.7%	0.7%	2.8%	4.2%	14.6%	13.2%	10.4%	8.3%	8.3%	2.1%	4.9%	5.6%	5.6%	1.4%	3.5%	4.2%	2.8%	2.1%	0.0%	0.0%	100.0%
葉山町	17	1	1	4	6	21	19	15	12	12	3	7	8	8	2	5	6	4	3	0	0	144
	11.8%	0.7%	0.7%	2.8%	4.2%	14.6%	13.2%	10.4%	8.3%	8.3%	2.1%	4.9%	5.6%	5.6%	1.4%	3.5%	4.2%	2.8%	2.1%	0.0%	0.0%	100.0%
藤沢市	6	4	3	5	1	11	21	13	16	3	9	5	4	2	3	2	1	0	1	0	0	121
	5.0%	3.3%	2.5%	4.1%	0.8%	9.1%	17.4%	10.7%	13.2%	2.5%	7.4%	4.1%	3.3%	1.7%	2.5%	1.7%	0.8%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	100.0%
横浜市金沢区	6	0	2	1	8	16	22	3	10	5	6	4	2	6	6	2	4	1	0	1	0	105
	5.7%	0.0%	1.9%	1.0%	7.6%	15.2%	21.0%	2.9%	9.5%	4.8%	5.7%	3.8%	1.9%	5.7%	5.7%	1.9%	3.8%	1.0%	0.0%	1.0%	0.0%	100.0%
横浜市戸塚区	4	1	1	4	15	18	11	12	2	13	8	1	2	2	2	0	2	0	0	0	0	102
	3.9%	1.0%	1.0%	3.9%	14.7%	17.6%	10.8%	11.8%	2.0%	12.7%	7.8%	1.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
アメリカ合衆国	1	1	1	2	13	17	8	4	4	2	5	5	3	3	2	1	2	2	1	1	0	81
	1.2%	1.2%	1.2%	2.5%	16.0%	21.0%	9.9%	4.9%	4.9%	2.5%	6.2%	6.2%	3.7%	3.7%	2.5%	1.2%	2.5%	1.2%	1.2%	1.2%	0.0%	100.0%
東京都	6	2	0	5	15	8	8	4	4	1	3	2	1	2	1	1	0	1	2	0	0	61
	9.8%	3.3%	0.0%	8.2%	24.6%	13.1%	13.1%	6.6%	6.6%	1.6%	4.9%	3.3%	1.6%	3.3%	1.6%	1.6%	0.0%	1.6%	3.3%	0.0%	0.0%	100.0%
千葉県	0	9	7	8	4	0	6	5	6	4	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	58
	0.0%	15.5%	12.1%	13.8%	6.9%	0.0%	10.3%	8.6%	10.3%	6.9%	1.7%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
世田谷区	1	0	1	4	11	6	7	3	3	6	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	44
	2.3%	0.0%	2.3%	9.1%	25.0%	13.6%	15.9%	6.8%	6.8%	13.6%	2.3%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	100.0%
横浜市港南区	1	1	1	2	8	9	7	4	2	1	1	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	42
	2.4%	2.4%	2.4%	4.8%	19.0%	21.4%	16.7%	9.5%	4.8%	2.4%	2.4%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	4.8%	0.0%	0.0%	100.0%
大田区	0	2	0	0	6	5	7	3	5	4	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	38
	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	15.8%	13.2%	18.4%	7.9%	13.2%	10.5%	2.6%	0.0%	2.6%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
横浜市栄区	3	0	2	0	8	8	4	3	2	2	1	4	1	1	0	1	1	0	0	0	0	38
	7.9%	0.0%	5.3%	0.0%	21.1%	21.1%	10.5%	7.9%	5.3%	5.3%	2.6%	10.5%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
埼玉県	2	1	0	1	5	7	2	4	2	2	0	0	2	1	2	1	0	0	0	0	0	33
	6.1%	3.0%	0.0%	3.0%	15.2%	21.2%	6.1%	12.1%	6.1%	6.1%	0.0%	0.0%	6.1%	3.0%	6.1%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
横浜市中区	0	1	2	2	4	3	0	5	7	2	1	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	33
	0.0%	3.0%	6.1%	6.1%	12.1%	9.1%	0.0%	15.2%	21.2%	6.1%	3.0%	3.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%	0.0%	100.0%
横浜市南区	8	0	0	0	5	9	4	4	2	0	0	0	3	1	3	0	0	0	0	0	0	31
	25.8%	0.0%	0.0%	0.0%	16.1%	29.0%	12.9%	12.9%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	9.7%	3.2%	9.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
総計	121	58	32	81	301	329	268	193	143	129	96	71	47	54	44	40	28	30	27	4	1	2097
	5.8%	2.8%	1.5%	3.9%	14.4%	15.7%	12.8%	9.2%	6.8%	6.2%	4.6%	3.4%	2.2%	2.6%	2.1%	1.9%	1.3%	1.4%	1.3%	0.2%	0.0%	100.0%

（凡例）

20.0%～	■
15.0～19.9%	■
10.0～14.9%	■
0～9.9%	■

転出先地域別の年齢階級上位5階級（20～44歳）の割合

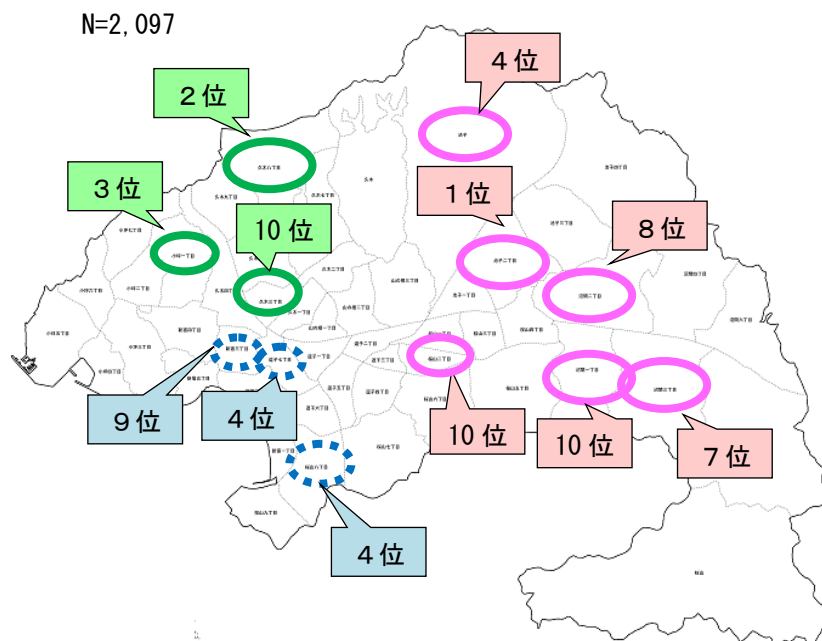
転出先地域	20～44歳までの割合
横浜市南区	77.4%
横浜市港南区	71.4%
大田区	68.4%
世田谷区	68.2%
横浜市栄区	65.8%
東京都	63.9%
埼玉県	60.6%
横浜市中区	57.6%
横浜市戸塚区	56.9%
アメリカ合衆国	56.8%
横浜市金沢区	56.2%
藤沢市	51.2%
鎌倉市	50.7%
葉山町	50.7%
横須賀市	47.3%
千葉県	36.2%
総計	58.9%

3-4. 転出元地域の状況 ～ どの地域（町丁目）から転出したか ～

- ◆ 転出前の住所地である市内の転出元地域別に、転出者数の多い地域（町丁目）の上位10位をみると、「池子2丁目」が104人で最も多くなっている。「池子ヒルズ」78人、「沼間3丁目」73人、「沼間2丁目」70人、「桜山2丁目」60人、「沼間1丁目」60人と、市の東エリアからの転出者が多くなっている。
- ◆ 市の北西エリアについても、「久木8丁目」95人、「小坪1丁目」83人、「久木3丁目」60人と転出者が多くなっている。
- ◆ 市の中心部や逗子海岸隣接エリアについても、「桜山8丁目」と「逗子7丁目」78人、「新宿3丁目」62人となっており、転出者の多い地域となっている。

転出元地域別の転出者数（転出者数が多い上位10地域）

順位	転出元地域	人数(人)
1位	池子2丁目	104
2位	久木8丁目	95
3位	小坪1丁目	83
4位	桜山8丁目	78
	逗子7丁目	78
	池子ヒルズ	78
7位	沼間3丁目	73
8位	沼間2丁目	70
9位	新宿3丁目	62
10位	久木3丁目	60
	桜山2丁目	60
	沼間1丁目	60



#### 4. 社会増減の状況

##### 4-1. 社会増減数

- ◆ 転入者数と転出者数の比較による社会増減の状況をみると、転入者と転出者の差は515人となっていて、転入者が転出者を上回る「社会増」の状態となっている。

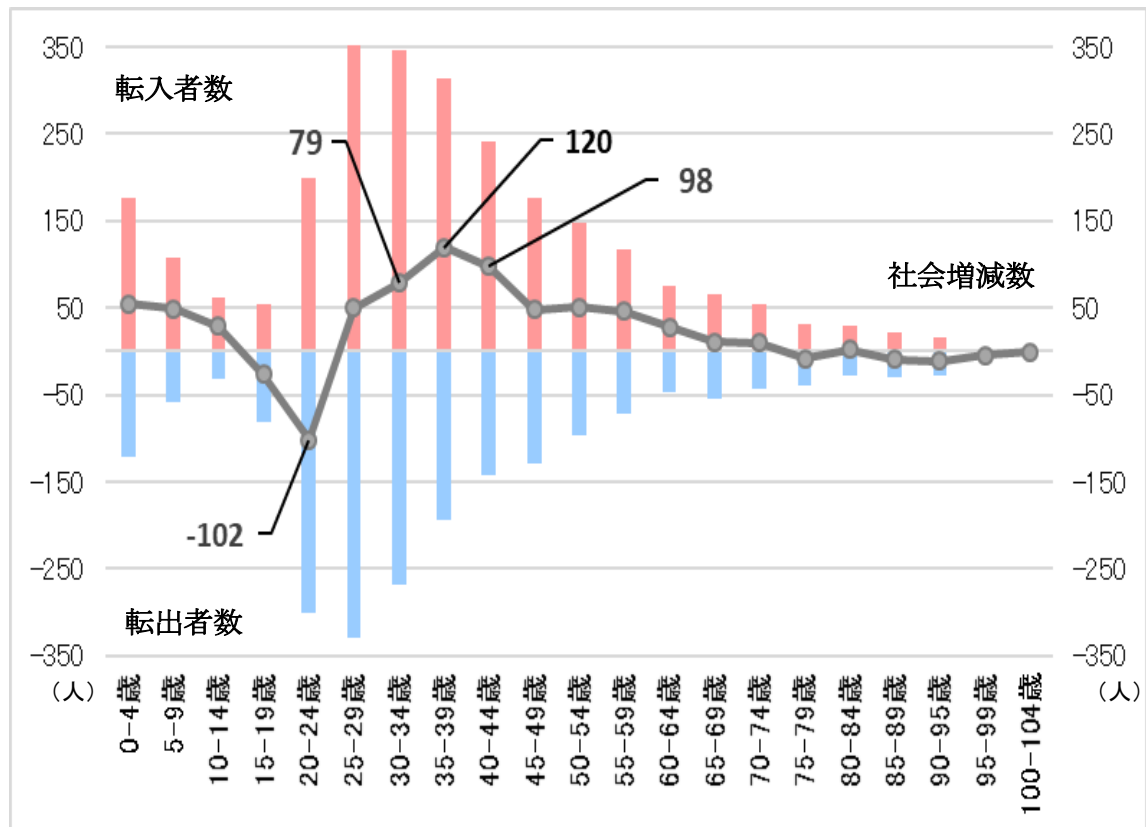
社会増減数

社会増減数(人) (転入者－転出者)	転入者 (人)	転出者 (人)
515	2,612	2,097

##### 4-2. 社会増減の年齢状況

- ◆ 5歳ごとの年齢階級別に社会増減の状況をみると、転入者が転出者を上回る「社会増」となっている年齢階級としては、「35～39歳」の120人が最も多く、次に「40～44歳」の98人、「30～34歳」の79人と続いている。
- ◆ 一方、転出者数が転入者数を上回る「社会減」となっている年齢階級としては、「20～24歳」(-102人)で多くなっていて、これは進学や就職に起因するものと考えられる。

年齢階級別社会増減数



Ⅲ. 令和2年度社会増減による人口動態の状況

年齢階級別社会増減数

年齢階級	社会増減数 (転入者－転出者)	転入者 (人)	転出者 (人)
0～4歳	55	176	121
5～9歳	49	107	58
10～14歳	29	61	32
15～19歳	-26	55	81
20～24歳	-102	199	301
25～29歳	50	379	329
30～34歳	79	347	268
35～39歳	120	313	193
40～44歳	98	241	143
45～49歳	48	177	129
50～54歳	51	147	96
55～59歳	46	117	71
60～64歳	28	75	47
65～69歳	11	65	54
70～74歳	10	54	44
75～79歳	-8	32	40
80～84歳	2	30	28
85～89歳	-9	21	30
90～94歳	-11	16	27
95～99歳	-4	0	4
100～104歳	-1	0	1
合計	515	2612	2097

4-3. 社会増減の地域別状況

- ◆ 社会増が15人以上の地域をみると、「世田谷区」、「品川区」、「大田区」、「目黒区」など東京都特別区の神奈川県に近接しているエリアが多い傾向がみられる。

社会増が15人以上の地域

地 域	社会増減数(人) (転入者－転出者)	転入者数 (人)	転出者数 (人)
世田谷区	76	103	27
渋谷区	40	47	7
品川区	40	61	21
港区	35	57	22
目黒区	35	52	17
大田区	29	67	38
埼玉県	27	71	44
練馬区	27	37	10
中央区	26	37	11
横須賀市	23	173	150
川崎市中原区	23	39	16
横浜市青葉区	22	33	11
横浜市鶴見区	22	31	9
杉並区	20	37	17
大阪府	18	22	4
アメリカ合衆国	17	75	58
横浜市戸塚区	15	57	42
豊島区	15	24	9

Ⅲ. 令和2年度社会増減による人口動態の状況

- ◆ 社会減が10人以上の地域については、「葉山町」が35人と最も多く、それに次いで「横浜市金沢区」33人、「藤沢市」31人、「鎌倉市」が28人となっている。

社会減が10人以上の地域

地 域	社会増減数(人) (転入者－転出者)	転入者数 (人)	転出者数 (人)
葉山町	-35	86	121
横浜市金沢区	-33	69	102
藤沢市	-31	74	105
鎌倉市	-28	116	144
横浜市磯子区	-23	10	33
沖縄県	-21	10	31
茅ヶ崎市	-12	21	33
横浜市南区	-11	20	31
平塚市	-11	8	19



4-4. 社会増減の市内の地域別状況

- ◆ 社会増が15人以上の市内地域については、「久木8丁目」が60人と最も多くなっている。

社会増が15人以上の市内地域

地 域	社会増減数（人） （転入者－転出者）	転入者数 （人）	転出者数 （人）
久木8丁目	60	155	95
小坪1丁目	44	127	83
逗子5丁目	41	76	35
久木3丁目	39	99	60
桜山5丁目	33	82	49
久木4丁目	25	77	52
桜山7丁目	25	77	52
山の根2丁目	23	49	26
桜山3丁目	22	64	42
池子1丁目	19	56	37
山の根1丁目	18	46	28
池子3丁目	18	67	49
逗子6丁目	17	41	24
小坪6丁目	15	48	33

- ◆ 社会減が10人以上の市内地域については、「新宿3丁目」が17人と最も多くなっている。

社会減が10人以上の市内地域

地 域	社会増減数（人） （転入者－転出者）	転入者数 （人）	転出者数 （人）
新宿3丁目	-17	45	62
池子	-14	64	78
池子2丁目	-13	91	104

## IV. 令和2年度転入者・転出者アンケート集計結果

## 1. アンケート概要

## 1-1. アンケートの目的

まち・ひと・しごと創生の取組みを進めるため、転入転出の実態や意識等を把握する。

## 1-2. アンケートの項目

※詳細は、「4. 調査票」を参照。

## (1) 転入者アンケート

- ・ 転入の事情、きっかけ
- ・ 逗子市を転入先として選んだ理由
- ・ 以前に逗子市に住んだ経験の有無
- ・ 逗子市にずっと住みたいと思うか

## (2) 転出者アンケート

- ・ 転出の事情、きっかけ
- ・ 逗子市に住んでいて良かったと感じた事柄
- ・ 逗子市に住んでいて不便または不満に感じた事柄
- ・ 事情が許すのであれば、逗子市に戻りたいかどうか

## 1-3. アンケートの設計

項目	内容
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 転入者及び転出者を対象とする。</li> <li>・ 窓口手続きに訪れた人のうち、1名が代表として記入することとし、世帯主であるか等は問わない。</li> <li>・ 代理人による手続きの場合は、対象外とする。</li> </ul>
実施場所	戸籍住民課窓口（1階ロビー）
回答方法	自書式書面アンケート
調査方法	戸籍住民課窓口配付ー1階ロビー回収ボックスに投入
調査期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

## 1-4. 回収結果

## (1) 転入者アンケート

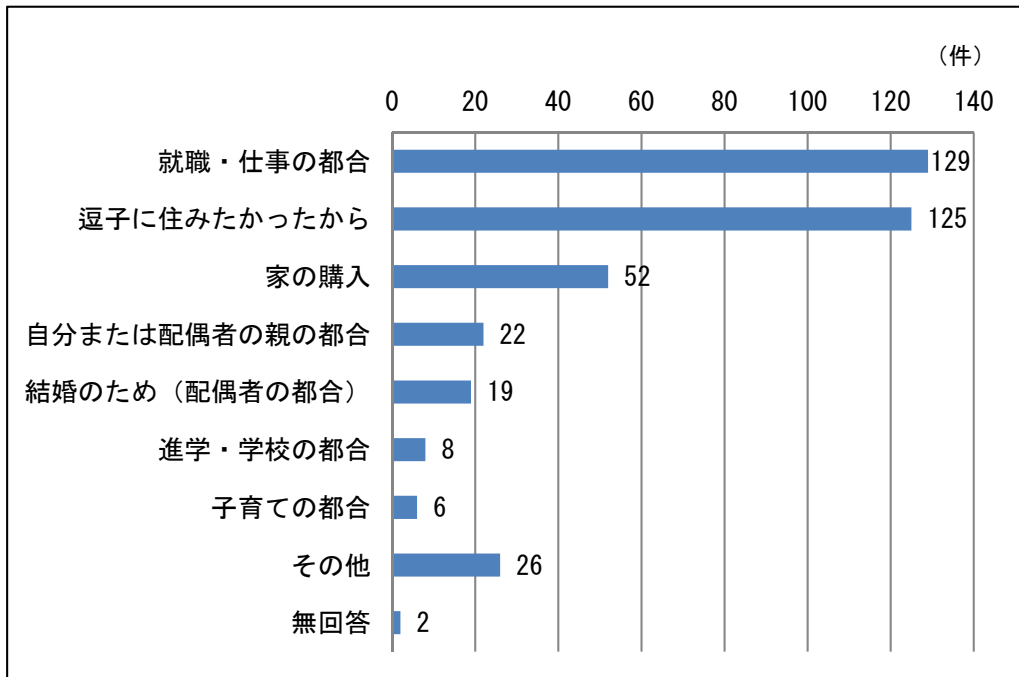
319件（全転入世帯1,433件に対する回収率：22.3%）

## (2) 転出者アンケート

292件（全転出世帯875件に対する回収率：33.4%）

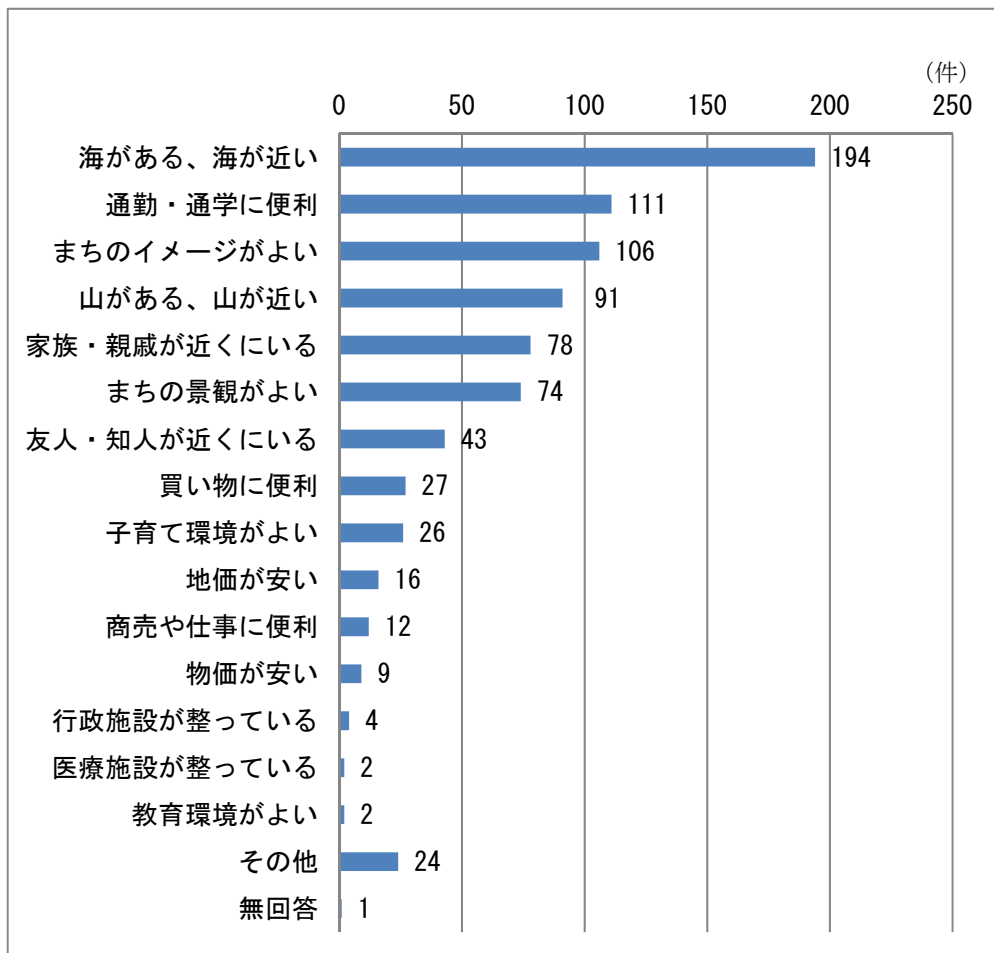
## 2. 市内転入者アンケート集計結果

### 2-1. 転入の事情、きっかけ（複数回答）



### 2-2. 返子市を転入先として選んだ理由（複数回答）

#### (1) 全体



IV. 令和2年度転入者・転出者アンケート集計結果

(2) 年齢別

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	合計
海がある、海が近い	5	50	73	31	21	11		1	2	194
通勤・通学に便利	4	34	39	14	12	5	2		1	111
まちのイメージがよい	3	30	38	15	11	5	1	1	2	106
山がある、山が近い	3	19	33	21	9	3		1	2	91
家族・親戚が近くにいる		27	23	10	9	4	2	2	1	78
まちの景観がよい	1	20	32	10	5	3	1		2	74
友人・知人が近くにいる	2	12	16	6	3	2	1		1	43
買い物に便利	1	8	11	2	2	2	1			27
子育て環境がよい	4	3	14	4	1					26
地価が安い		5	5	4	1	1				16
商売や仕事に便利	1	1		4	4	2				12
物価が安い		3	2	1	3					9
行政施設が整っている	2		2							4
医療施設が整っている		1		1						2
教育環境がよい			1	1						2
その他	2	8	7	3	1	1	2			24
無回答									1	1

(凡例)

80～	
50～79	
25～49	
0～24	

(3) 地域別

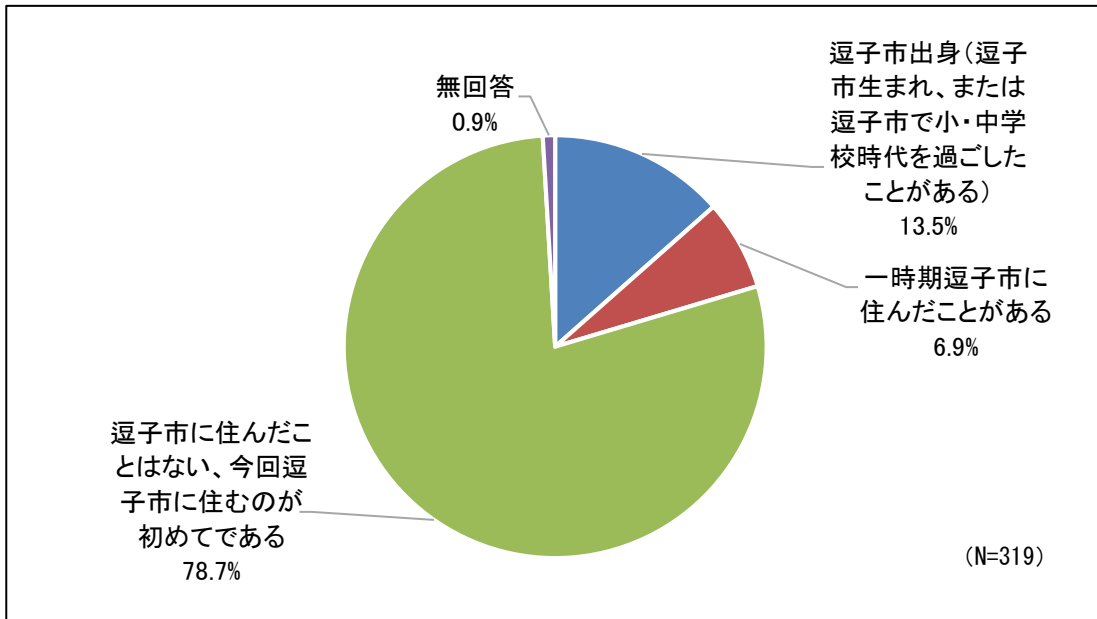
	逗子	桜山	沼間	池子	山の根	久木	小坪	新宿	無回答	合計
海がある、海が近い	32	53	10	9	10	38	28	13	1	194
通勤・通学に便利	20	28	11	8	6	20	11	7		111
まちのイメージがよい	22	26	7	7	4	21	10	9		106
山がある、山が近い	9	25	8	5	7	17	12	8		91
家族・親戚が近くにいる	10	23	15	6	1	12	9	2		78
まちの景観がよい	15	19	6	5	5	10	8	6		74
友人・知人が近くにいる	6	14	7	4	1	2	7	2		43
買い物に便利	12	5	2		1	4	2		1	27
子育て環境がよい	6	6	1	1	2	3	6	1		26
地価が安い	3	2	1	2	1	2	4	1		16
商売や仕事に便利	2	4	1				3	2		12
物価が安い	1	3	1		1	1		2		9
行政施設が整っている	2	1					1			4
医療施設が整っている		1			1					2
教育環境がよい				1		1				2
その他	7	3	1	2	3	5	3			24
無回答		1								1

(凡例)

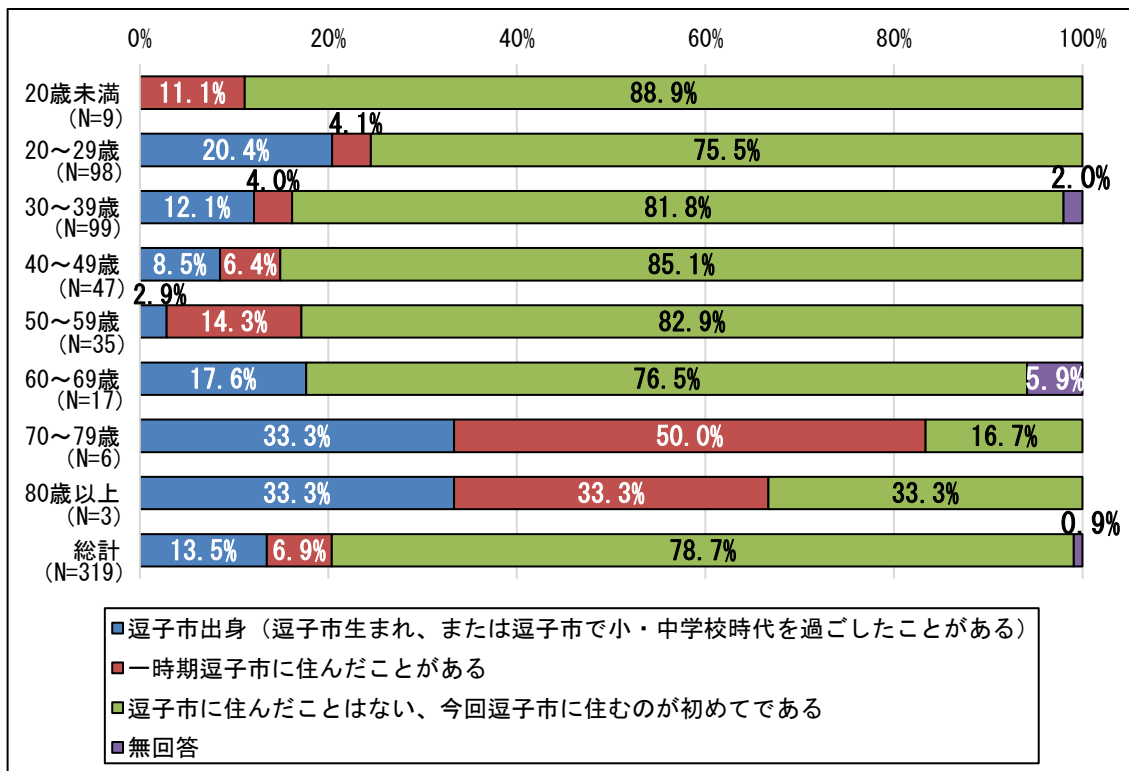
80～	
50～79	
25～49	
0～24	

2-3. 以前に逗子市に住んだ経験の有無（複数回答）

(1) 全体

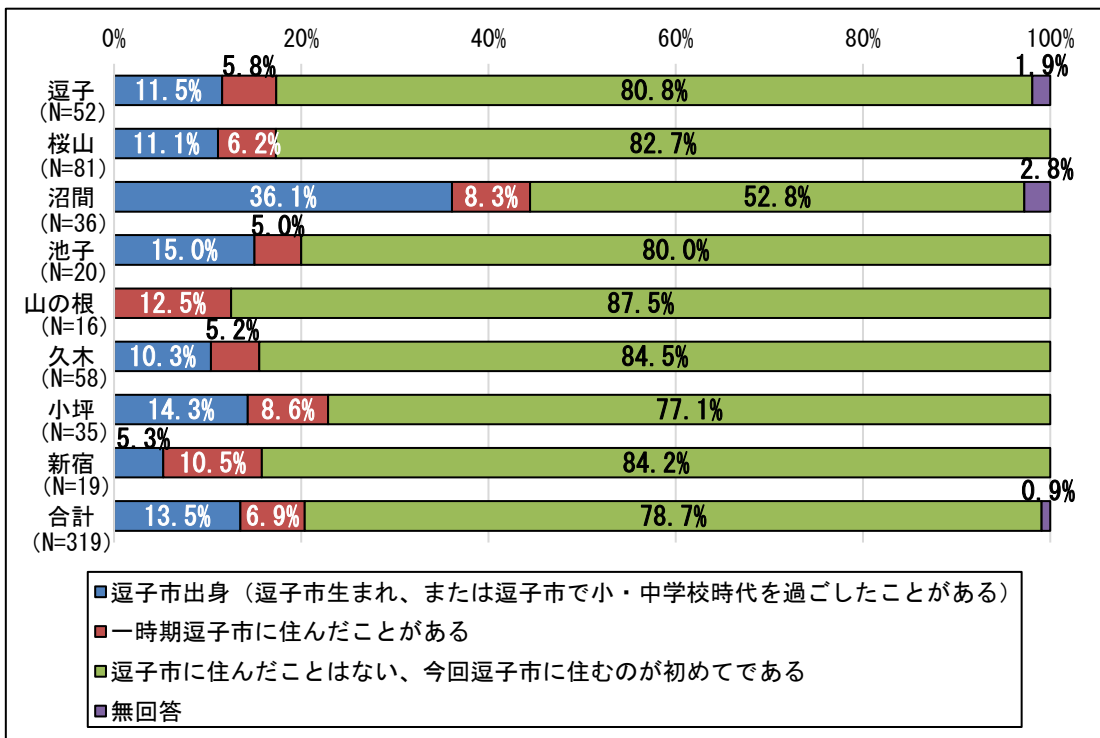


(2) 年齢別



(注) 年齢無回答を除く。

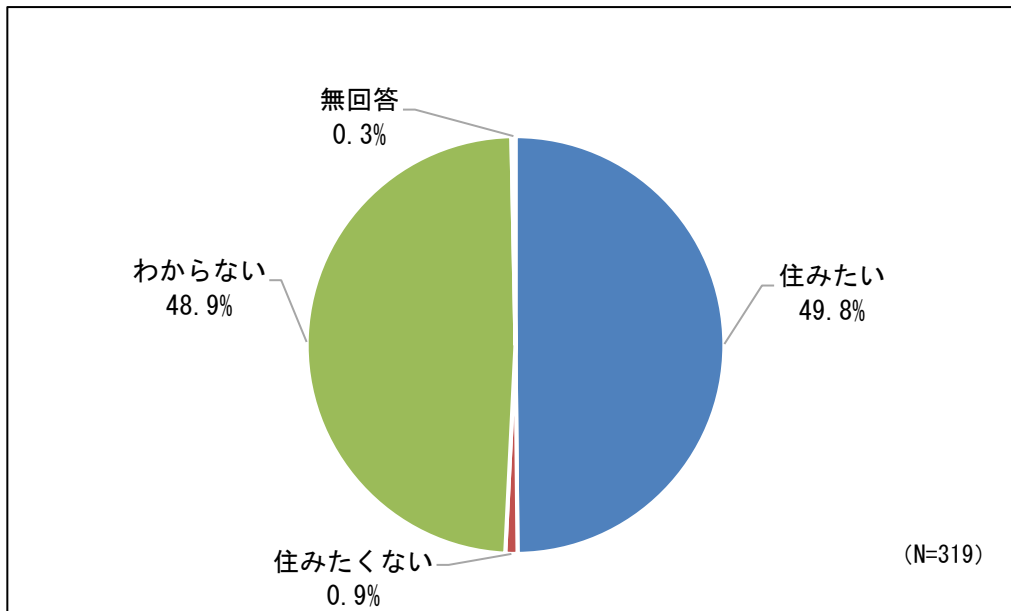
(3) 地域別



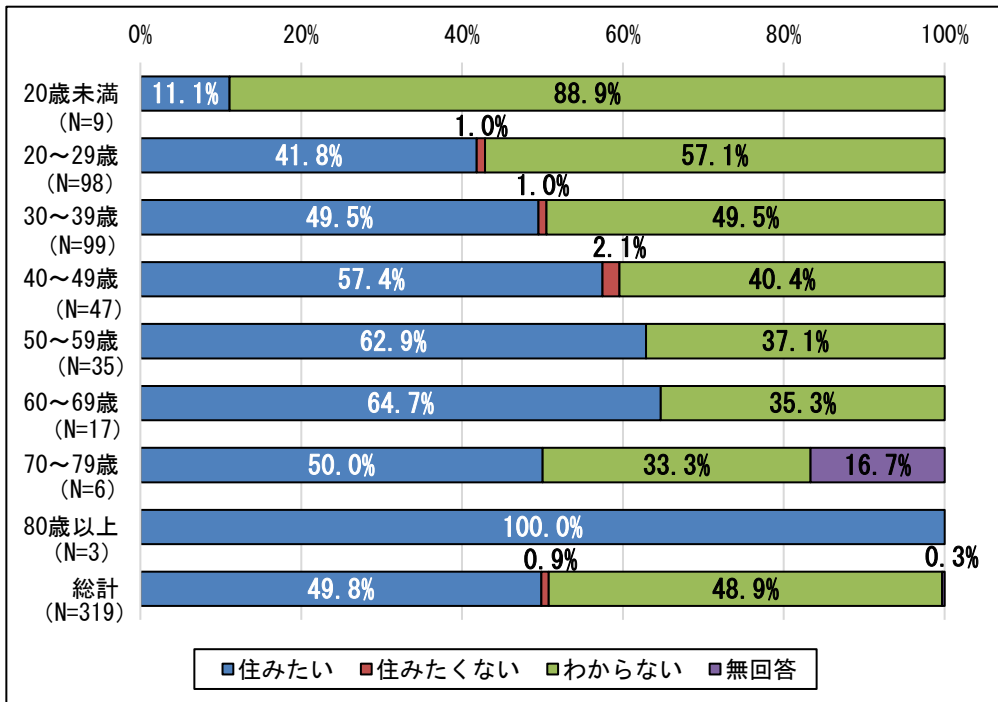
(注) 地域無回答を除く。

2-4. 逗子市にずっと住みたいと思うか

(1) 全体

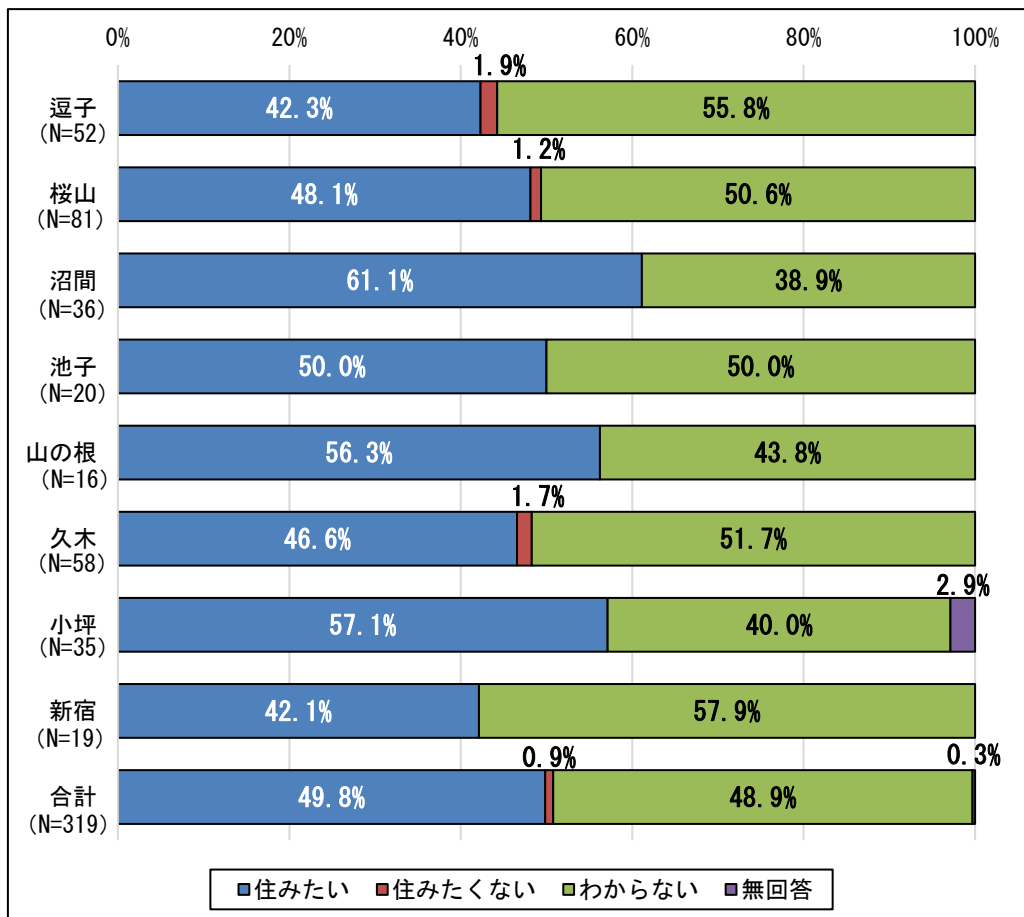


(2) 年齢別



(注) 年齢無回答を除く。

(3) 地域別



(注) 地域無回答を除く。

2-5. 回答者のプロフィール

(1) 転入元（市町村）

※10件以上転入した転入元

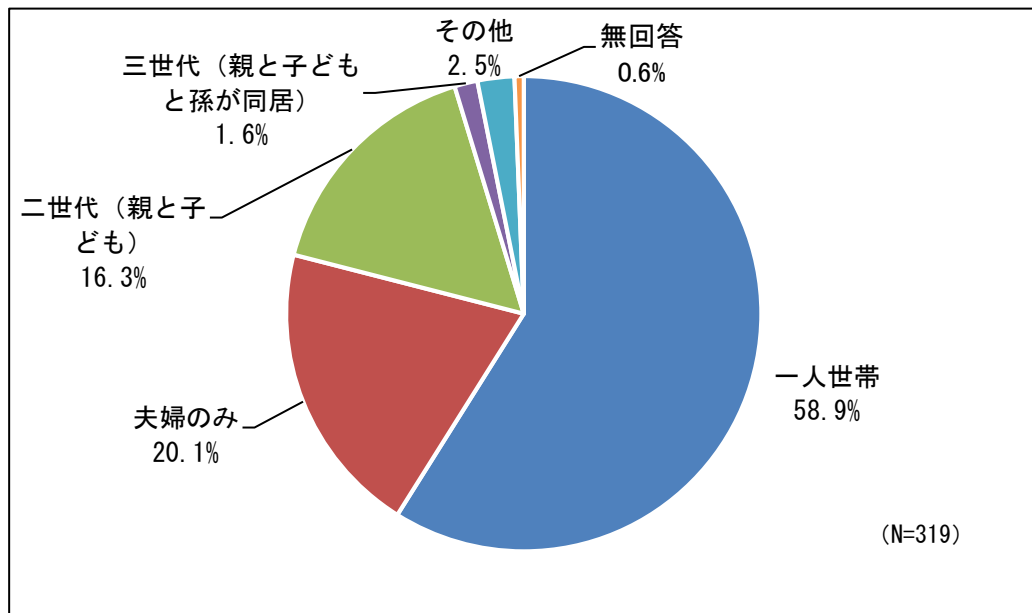
市町村名	件
横浜市	52
川崎市	23
横須賀市	18
世田谷区	14
鎌倉市	12
大田区	11

※政令指定都市（行政区単位）で5件以上転入した転入元

政令指定都市名（行政区単位）	件
横浜市戸塚区	8
横浜市港北区	7
横浜市青葉区	5
横浜市金沢区	5
横浜市神奈川区	5

(注) 政令指定都市名（行政区単位）無回答5件を除く。

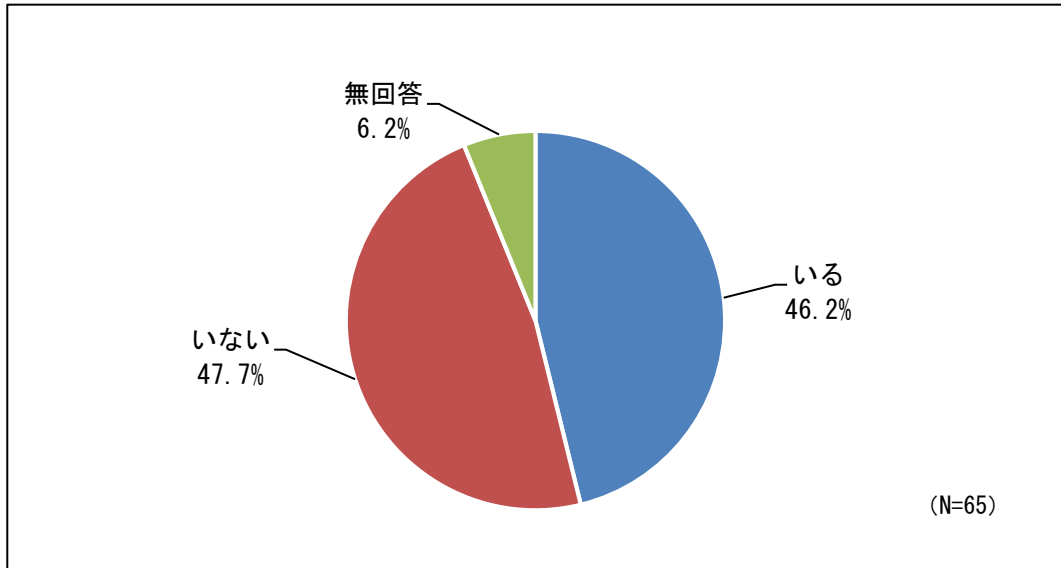
(2) 転入する世帯の状況



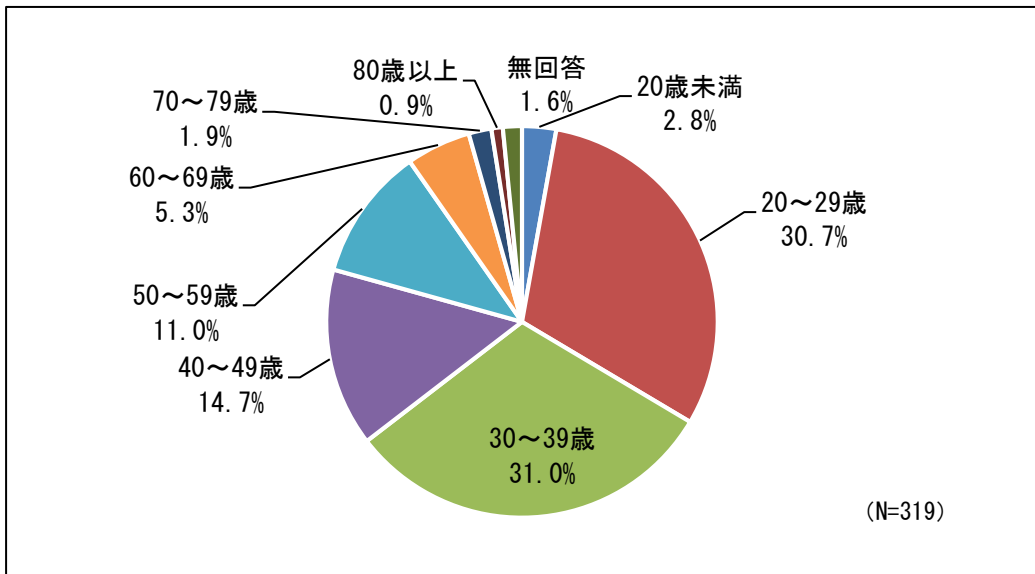


IV. 令和2年度転入者・転出者アンケート集計結果

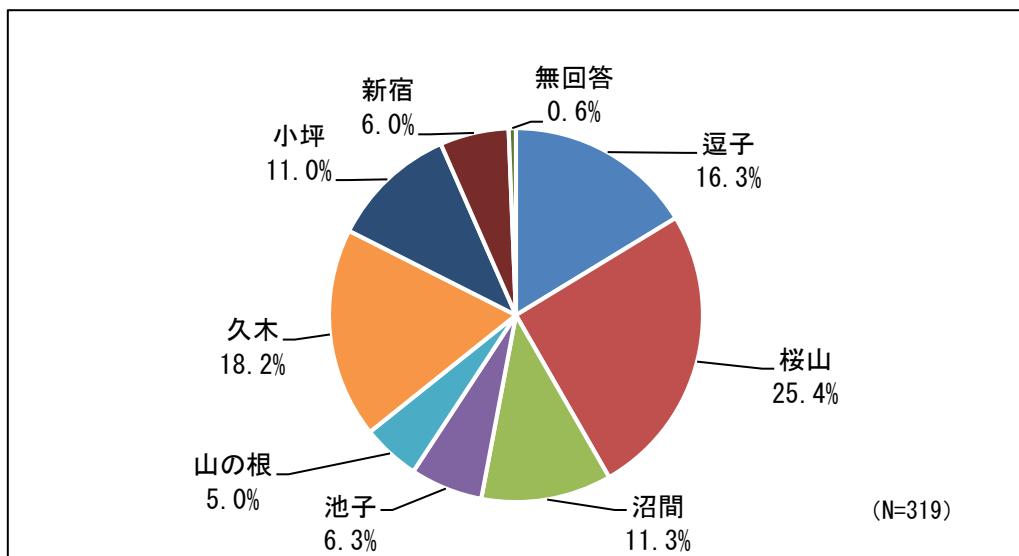
(3) (子どもと一緒に転居をした場合) 中学生以下の子どもの有無



(4) 転入の一番のきっかけとなった人の年齢

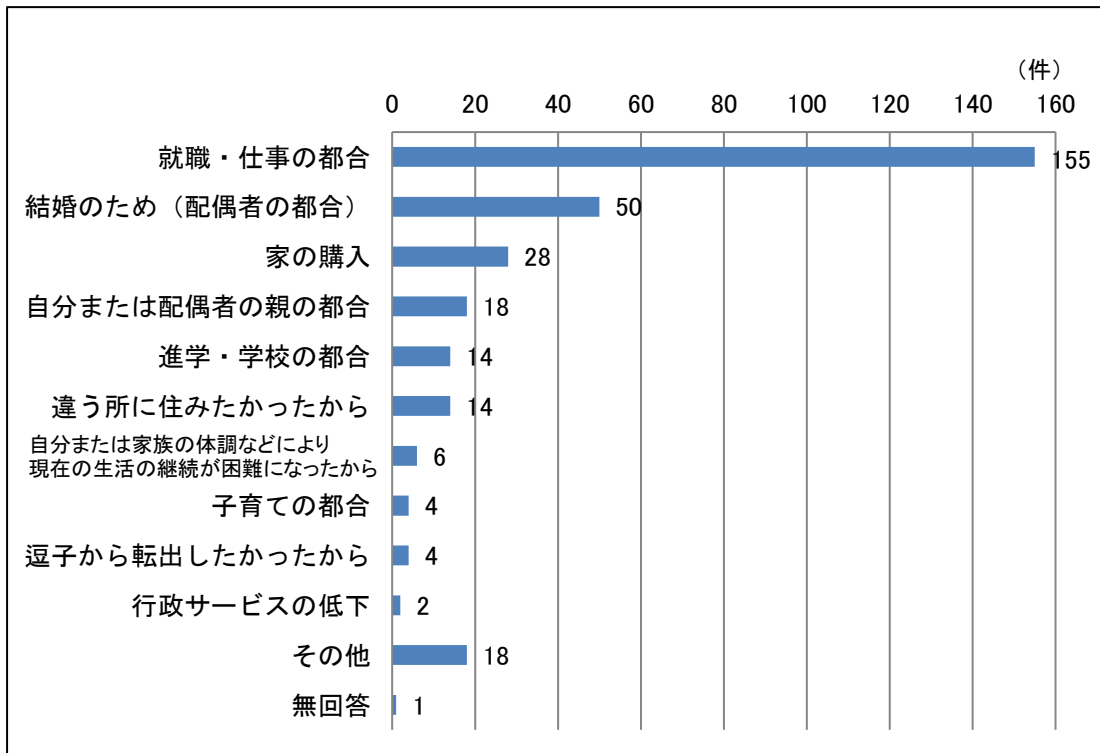


(5) 市内の居住地



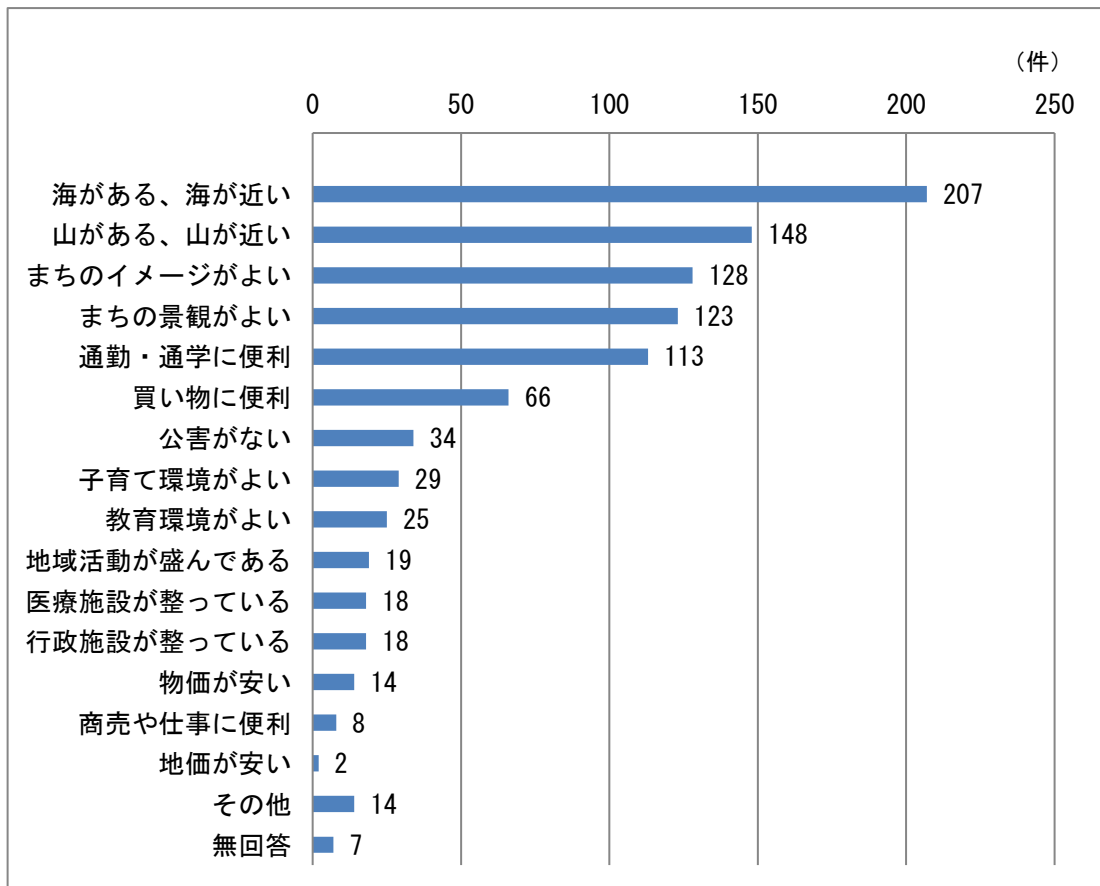
### 3. 市外転出者アンケート集計結果

#### 3-1. 転出の事情、きっかけ（複数回答）



#### 3-2. 逗子市に住んでいて良かったと感じた事柄（複数回答）

##### (1) 全体



IV. 令和2年度転入者・転出者アンケート集計結果

(2) 年齢別

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	合計
海がある、海が近い	9	93	54	26	11	4	3	5	2	207
山がある、山が近い	10	60	39	20	8	3	2	4	2	148
まちのイメージがよい	6	61	40	11	4	2		3	1	128
まちの景観がよい	5	57	38	13	4	1	1	3	1	123
通勤・通学に便利	7	54	28	10	7	3	2	1	1	113
買い物に便利	2	29	19	5	5	3	2	1		66
公害がない		16	11	5	1				1	34
子育て環境が良い	2	13	9	3	2					29
教育環境がよい	2	13	7	2		1				25
地域活動が盛んである	2	6	6	4		1				19
医療施設が整っている	2	4	7	2	1	1	1			18
行政施設が整っている		8	8	1		1				18
物価が安い		8	5	1						14
商売や仕事に便利		4	3	1						8
地価が安い		2								2
その他		3	4	5	1	1				14
無回答		3	2	2						7

(凡例)

80～	
50～79	
25～49	
0～24	

(3) 地域別

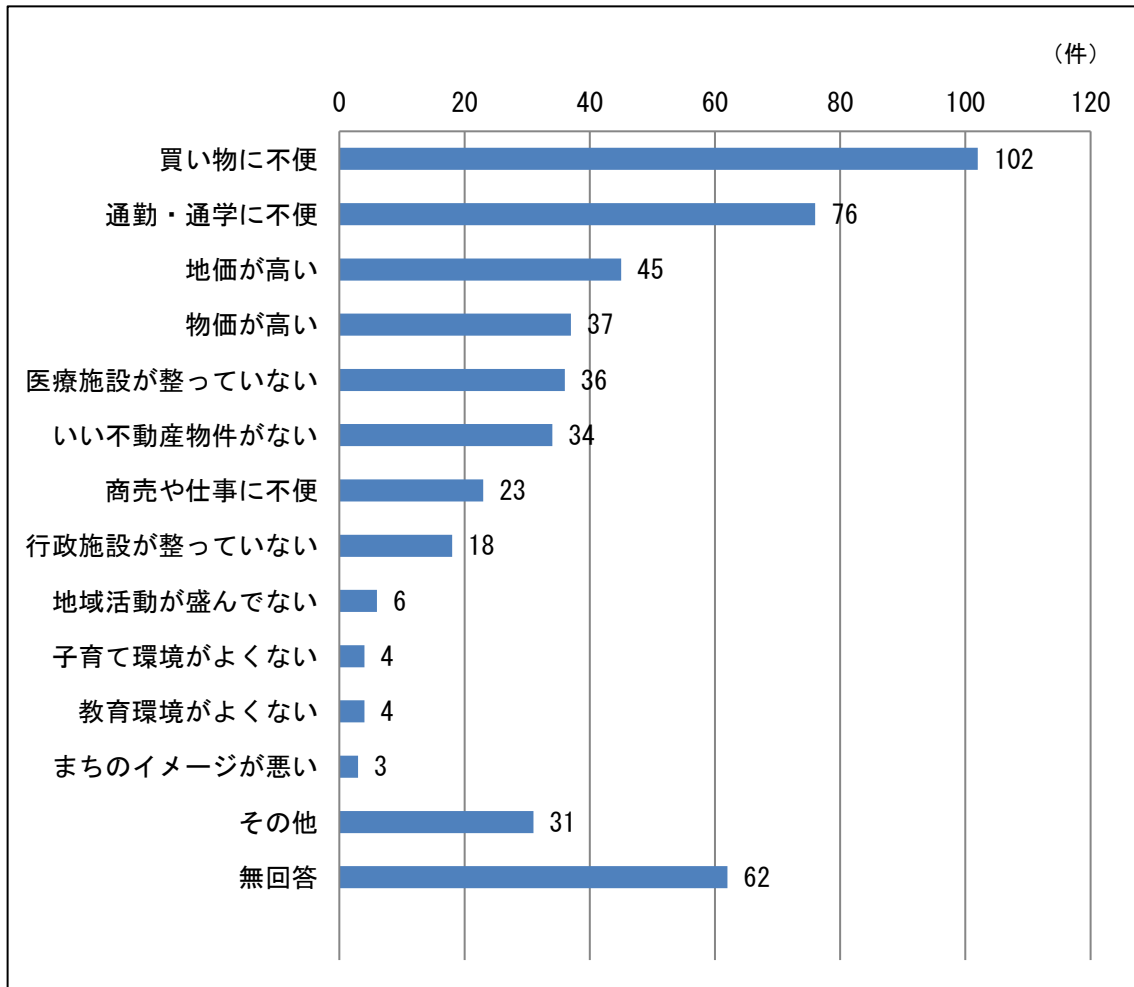
	逗子	桜山	沼間	池子	山の根	久木	小坪	新宿	無回答	合計
海がある、海が近い	44	36	22	15	9	35	28	16	2	207
山がある、山が近い	28	28	23	14	8	21	19	7		148
まちのイメージがよい	26	25	14	11	8	22	15	7		128
まちの景観がよい	22	25	13	11	5	25	16	6		123
通勤・通学に便利	32	15	17	7	9	21	3	8	1	113
買い物に便利	20	10	9	2	4	14	3	4		66
公害がない	7	6	4	3	3	7	3	1		34
子育て環境がよい	4	5	4	2	2	4	7	1		29
教育環境がよい	5	6	3	2	1	2	5	1		25
地域活動が盛んである	7	3		3		4	1	1		19
医療施設が整っている	4	2	6			2	1	2	1	18
行政施設が整っている	5	4	1	1	1	4	1	1		18
物価が安い	3	3	2		1	1	2	2		14
商売や仕事に便利	2	3		1		1	1			8
地価が安い	1						1			2
その他		3	4	2	2	3				14
無回答		3	1		1	1	1			7

(凡例)

45～	
30～44	
15～29	
0～14	

3-3. 逗子市に住んでいて不便または不満に感じた事柄（複数回答）

(1) 全体



(2) 年齢別

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答	合計
買い物に不便	3	51	27	13	3		3	2		102
通勤・通学に不便	5	39	21	5	2	2		1	1	76
地価が高い	2	16	12	7	4	1	1	1	1	45
物価が高い	1	12	8	7	4	2	2	1		37
医療施設が整っていない	2	9	6	12	2	1	2	1	1	36
いい不動産物件がない		10	14	8	1				1	34
商売や仕事に不便		8	8	4	1	1	1			23
行政施設が整っていない		6	4	4	1		2		1	18
地域活動が盛んでない		4	1	1						6
子育て環境がよくない		2	1	1						4
教育環境がよくない		2		1	1					4
まちのイメージが悪い		2			1					3
その他		9	8	7	4	2			1	31
無回答	5	31	16	4	1	2	1	2		62

(凡例)

45～	
30～44	
15～29	
0～14	

IV. 令和2年度転入者・転出者アンケート集計結果

(3) 地域別

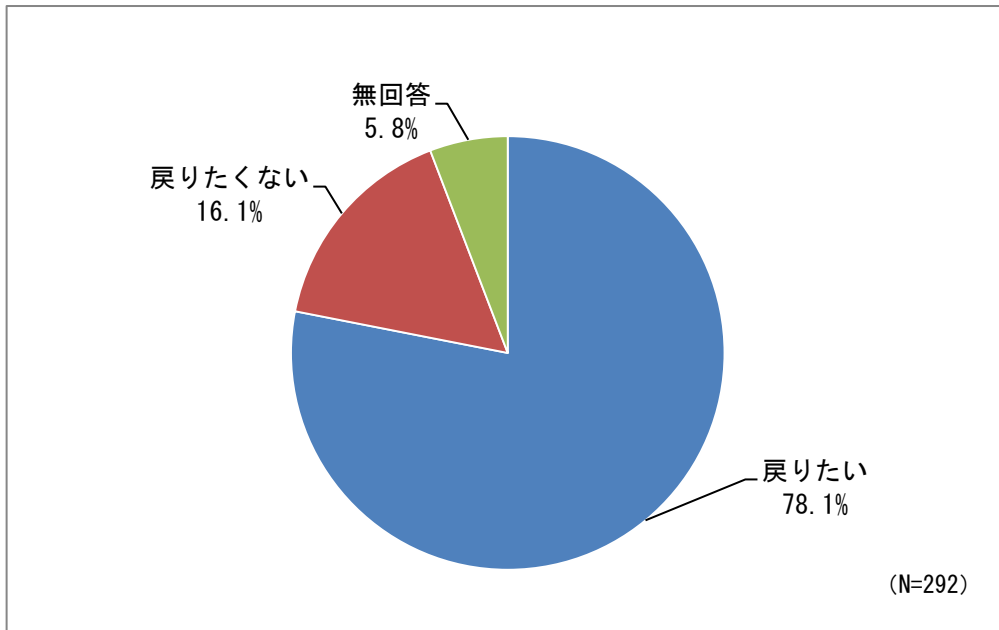
	逗子	桜山	沼間	池子	山の根	久木	小坪	新宿	無回答	合計
買い物に不便	17	20	19	9	3	13	13	7	1	102
通勤・通学に不便	19	8	14	5	4	7	15	4		76
地価が高い	14	10	6	4	1	6	1	3		45
物価が高い	8	8	6	2	3	5	3	2		37
医療施設が整っていない	5	4	7	4	2	8	3	2	1	36
いい不動産物件がない	8	6	9	4	2	4		1		34
商売や仕事に不便	3	4	5	3	1	4	3			23
行政施設が整っていない	2	5	3	2		4	1		1	18
地域活動が盛んでない		2	2	1		1				6
子育て環境がよくない	1		2			1				4
教育環境がよくない		1	2	1						4
まちのイメージが悪い			1	1			1			3
その他	7	5	4	4		6	2	2	1	31
無回答	11	8	9	5	6	14	5	4		62

(凡例)

45～	
30～44	
15～29	
0～14	

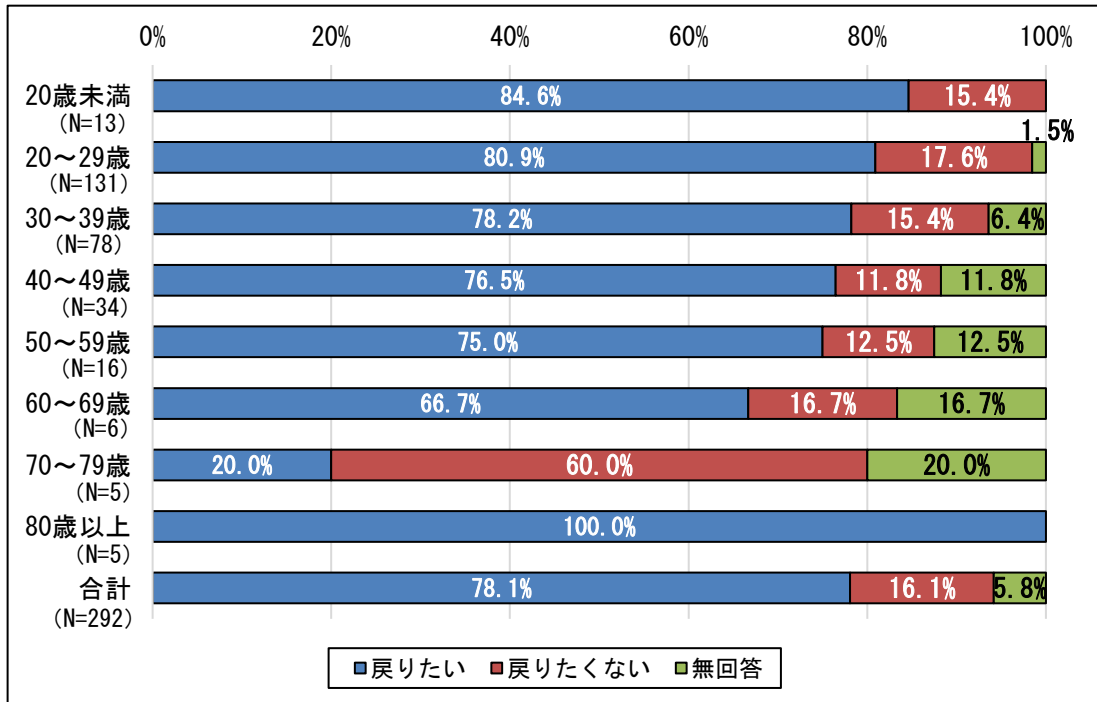
3-4. 事情が許すのであれば、逗子市に戻りたいかどうか

(1) 全体



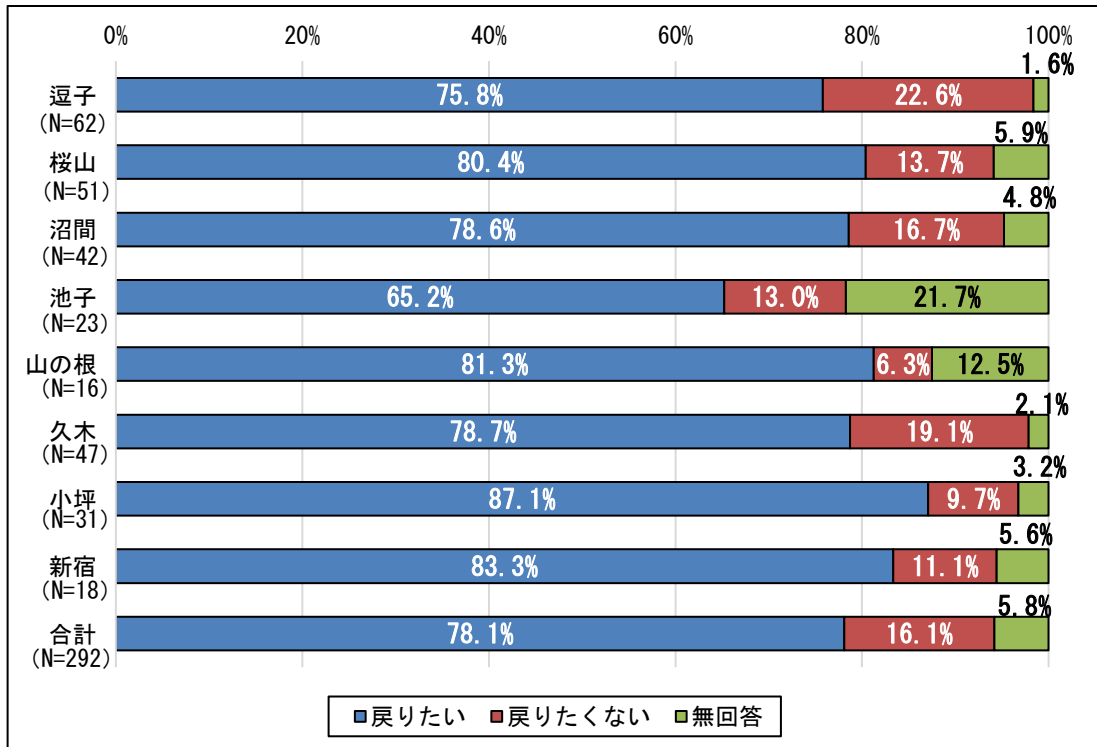
IV. 令和2年度転入者・転出者アンケート集計結果

(2) 年齢別



(注) 年齢無回答を除く。

(3) 地域別



(注) 地域無回答を除く。

### 3-5. 回答者のプロフィール

#### (1) 転出先（市町村）

※10件以上転出した転出先

市区町村名	件
横浜市	74
横須賀市	24
鎌倉市	19
川崎市	13
藤沢市	13

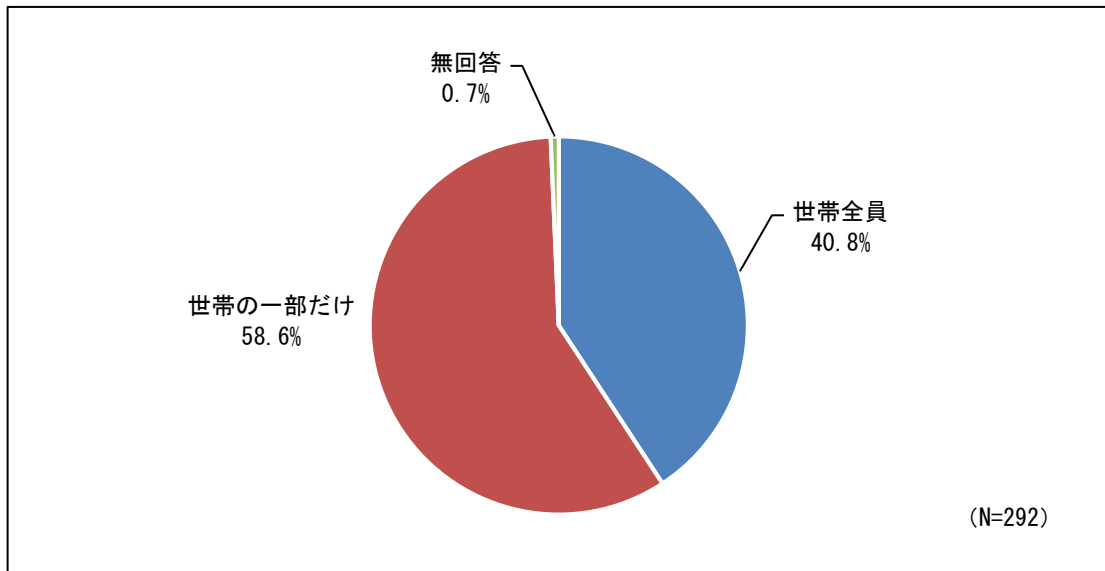
(注) 市町村名無回答 19件を除く。

※政令指定都市（行政区単位）で5件以上転出した転出先

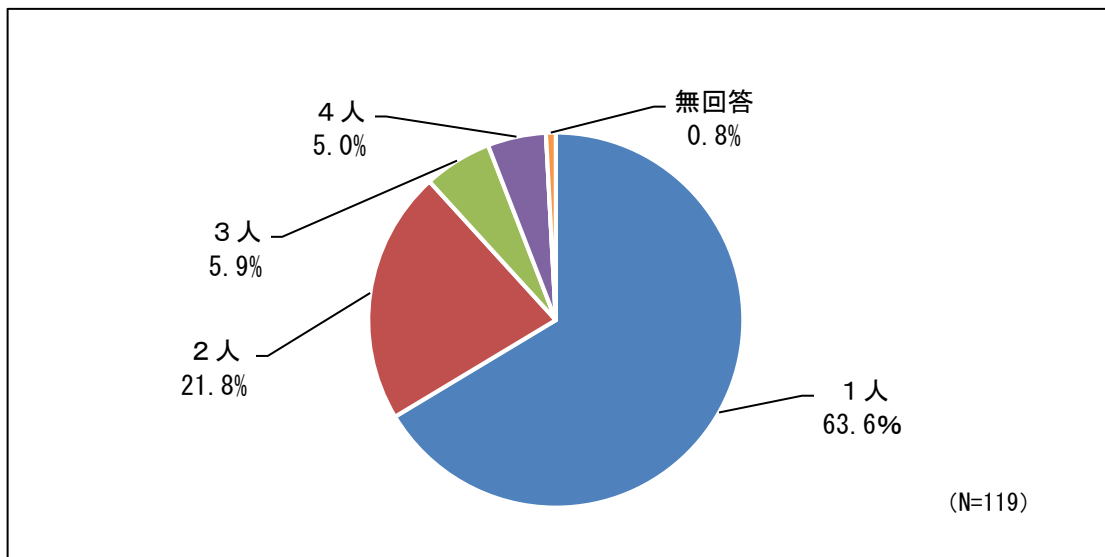
政令指定都市名(行政区単位)	件
横浜市金沢区	11
横浜市戸塚区	9
横浜市港南区	8
横浜市栄区	8
横浜市南区	6
横浜市港北区	6

(注) 政令指定都市（行政区単位）無回答 8件を除く。

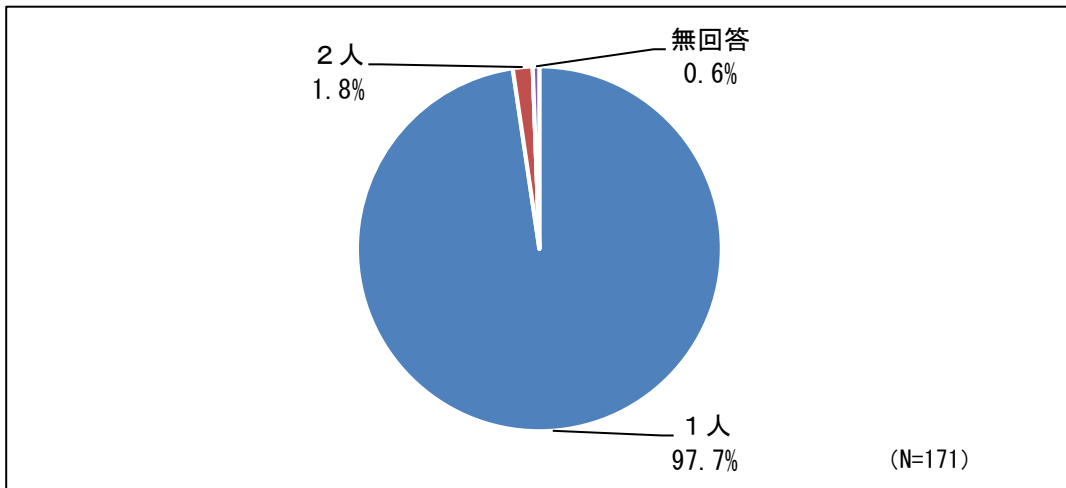
#### (2) 転出時の世帯の状況（世帯員 or 世帯の一部）



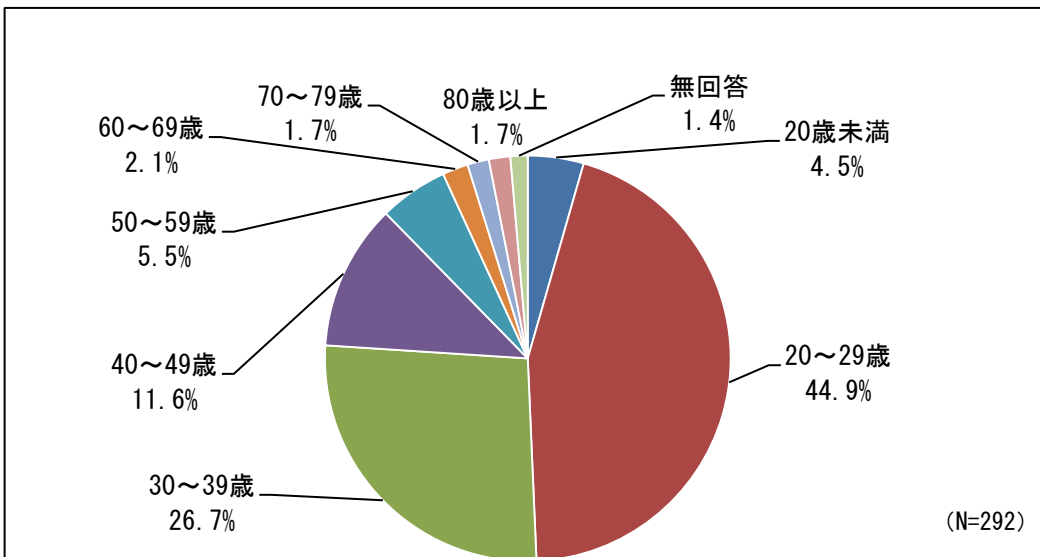
#### (3) 世帯全員が転出した場合の転出者数



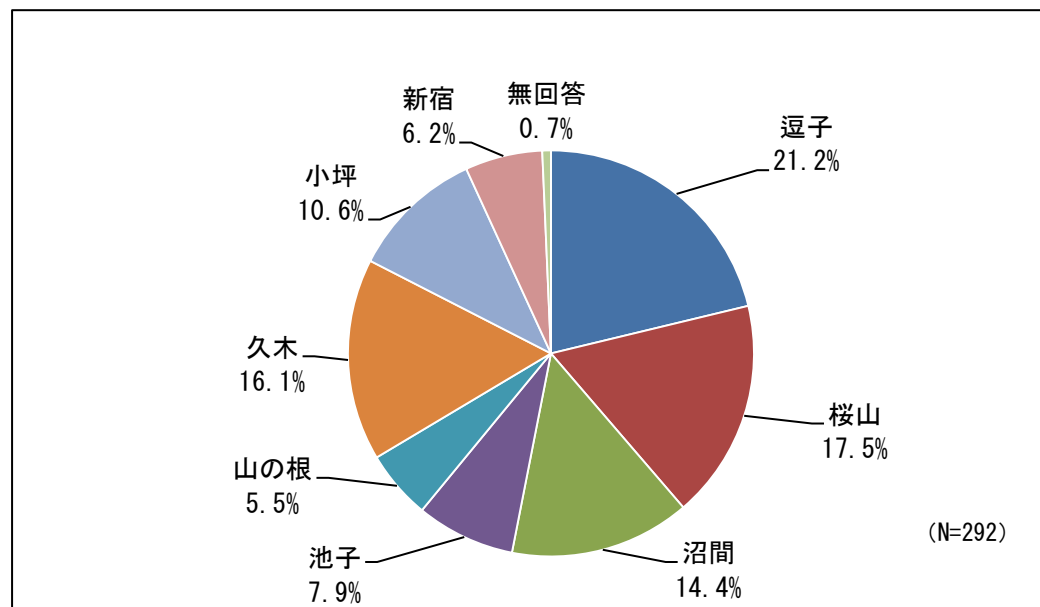
(4) 世帯の一部転出した場合の転出者数



(5) 転出の一番のきっかけとなった人の年齢



(6) 市内の居住地





## 4. 調査票

(転入者アンケート)

<b>転入</b>	<b>逗子市へ転入される皆様へ</b>		
今後のまちづくりの参考とさせていただきますため、アンケート調査へのご協力をお願いいたします。			
Q1 転入前の住所地はどちらですか。政令指定都市の場合は[ ]内もご記入ください。			
都道府県	市区町村 ( [ ] 区 )		
Q2 転入される家族構成についてお答えください。(○はそれぞれ1つだけ)			
1 一人世帯 2 夫婦のみ 3 二世帯(親と子ども) → 4 三世帯(親と子どもと孫が同居) → 5 その他( ) →	Q2-1 中学生以下の子どもの有無 (出産予定を含む) 1 いる      2 いない		
Q3 転入の事情、きっかけを選んでください。(○は複数可)			
1 就職・仕事の都合	2 進学・学校の都合	3 子育ての都合	
4 自分または配偶者の親の都合	5 結婚のため(配偶者の都合)	6 家の購入	
7 逗子に住みたかったから	8 その他( )		
Q4 今回転入される一番のきっかけとなった方の年齢を選んでください。(○は1つだけ)			
1 20歳未満	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳
5 50～59歳	6 60～69歳	7 70～79歳	8 80歳以上
Q5 市内のお住まいの地域はどちらですか。(○は1つだけ)			
1 逗子	2 桜山	3 沼間	4 池子
5 山の根	6 久木	7 小坪	8 新宿
Q6 逗子市を転入先として選んだ理由を選んでください。(○は複数可)			
1 通勤・通学に便利	2 買い物に便利	3 商売や仕事に便利	
4 医療施設が整っている	5 行政施設が整っている	6 物価が安い	
7 地価が安い	8 子育て環境がよい	9 教育環境がよい	
10 海がある、海が近い	11 山がある、山が近い	12 まちの景観がよい	
13 まちのイメージがよい	14 家族・親戚が近くにいる	15 友人・知人が近くにいる	
16 その他( )			
Q7 以前、逗子市に住んだことがありますか。(○は1つだけ)			
1 逗子市出身(逗子市生まれ、または逗子市で小・中学校時代を過ごしたことがある)			
2 一時期逗子市に住んだことがある			
3 逗子市に住んだことはない、今回逗子市に住むのが初めてである			
Q8 逗子市にずっと住みたいと思いますか。(○は1つだけ)			
1 住みたい	2 住みたくない	3 わからない	
ご協力ありがとうございました			

## (転出者アンケート)

<b>転出</b>	<b>逗子市から転出される皆様へ</b>		
今後のまちづくりの参考とさせていただくため、アンケート調査へのご協力をお願いいたします。			
Q1 転出先はどちらですか。政令指定都市の場合は[ ]内もご記入ください。			
都道府県	市区町村 ( [ ] 区 )		
Q2 転出される方と、その人数をお答えください。(○は1つだけ)			
1 世帯全員 (      人 )	2 世帯の一部だけ (      人 )		
Q3 転出の事情、きっかけを選んでください。(○は複数可)			
1 就職・仕事の都合	2 進学・学校の都合	3 子育ての都合	
4 自分または配偶者の親の都合	5 結婚のため(配偶者の都合)	6 家の購入	
7 逗子から転出したかったから	8 違う所に住みたかったから		
9 自分または家族の体調などにより現在の生活の継続が困難になったから			
10 行政サービスの低下	11 その他 (                      )		
Q4 今回転出される一番のきっかけとなった方の年齢を選んでください。(○は1つだけ)			
1 20歳未満	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳
5 50～59歳	6 60～69歳	7 70～79歳	8 80歳以上
Q5 お住まいだった地域はどちらですか。(○は1つだけ)			
1 逗子	2 桜山	3 沼間	4 池子
5 山の根	6 久木	7 小坪	8 新宿
Q6 住んでいて良かったと感じた事柄を選んでください。(○は複数可)			
1 通勤・通学に便利	2 買い物に便利	3 商売や仕事に便利	
4 医療施設が整っている	5 行政施設が整っている	6 物価が安い	
7 地価が安い	8 子育て環境がよい	9 教育環境がよい	
10 海がある、海が近い	11 山がある、山が近い	12 まちの景観がよい	
13 公害がない	14 地域活動が盛んである	15 まちのイメージがよい	
16 その他 (                      )			
Q7 住んでいて不便または不満に思われた事柄を選んでください。(○は複数可)			
1 通勤・通学に不便	2 買い物に不便	3 商売や仕事に不便	
4 医療施設が整っていない	5 行政施設が整っていない	6 物価が高い	
7 地価が高い	8 子育て環境がよくない	9 教育環境がよくない	
10 いい不動産物件がない	11 地域活動が盛んでない	12 まちのイメージが悪い	
13 その他 (                      )			
Q8 事情が許すのであれば、逗子市に戻りたいと思いますか。(○は1つだけ)			
1 戻りたい	2 戻りたくない		
ご協力ありがとうございました			



令和2年度  
逗子市人口データ集

2021年（令和3年）6月

逗子市 経営企画部 企画課

〒249-8686 神奈川県逗子市逗子5丁目2番16番  
電話 046-873-1111（代表）  
FAX 046-873-4520  
E-mail [kikaku@city.zushi.lg.jp](mailto:kikaku@city.zushi.lg.jp)